

第36回 全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)

36th All Japan Dance Festival -Kobe

創作コンクール部門・参加発表部門

大会開催要項



大会開催要項は熟読して下さい。

その他の詳細な連絡は大会ホームページ上に掲載しますので、頻繁に閲覧するようにして下さい。

各都道府県・指定都市教育委員会教育長 様
各高等学校長・大学長 様
各校体育担当者・ダンス担当者 様

全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸）
実行委員会 会長
公益社団法人 日本女子体育連盟会長
細川 江利子

第 36 回全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸）ご案内

今般、公益社団法人日本女子体育連盟・神戸市・神戸市教育委員会主催のもとに、「第 36 回全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸）」を開催するはこびとなりました。

ここに参加申込についてのご案内をさしあげ、貴校・貴学のご参加を心よりお待ちしております。

主 催 公益社団法人 日本女子体育連盟・神戸市・神戸市教育委員会

主 管 全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸）実行委員会

後援（予定） スポーツ庁・(公財)日本スポーツ協会・NHK・(公財)全国高等学校体育連盟
全国高等学校長協会・兵庫県・兵庫県教育委員会
(公財)神戸市スポーツ協会・(公財)ミズノスポーツ振興財団

協賛（予定） フォトスタジオ八木・ミズノ株式会社（五十音順） 他

開催期日 令和 6 年 8 月 6 日（火）、7 日（水）、8 日（木）、9 日（金）

開催内容 開会式
創作コンクール部門（高校：予選・決選）（大学：予選・決選）
参加発表部門
表彰式・特別プログラム（創作コンクール部門の受賞作品上演）

開催地 神戸市・神戸文化ホール 神戸市中央区楠町 4 丁目 2 - 2

公式ホームページ <https://www.ajdf.jp>

大会事務局 全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸）実行委員会事務局
（神戸市文化スポーツ局スポーツ企画課内）
edu-ajdf@office.city.kobe.lg.jp

— 目 次 —

第36回大会における変更点	p 1
Ⅰ 開催日程	p 2
Ⅱ 手続き等一覧	p 3
Ⅲ 開催要項	p 5
Ⅳ 参加要項	
1. 参加資格	p 8
2. 部門及び内容	p 8
3. 参加のための手続き	
(1) 参加申込	p 9
(2) プログラム原稿等の提出、参加人数登録、大会プログラム追加申込（希望者のみ）	p 9
(3) 参加料等（グループ登録料・顧問登録料・個人参加料・入場証発行費・使用曲目申請費）の入金	p11
(4) A・B用紙・CD（「音響（選曲や自作音など）の工夫」・「舞台美術（自作の衣装・小道具）の工夫」）の提出	p11
4. 規定事項	
(1) 著作物の引用について	p13
(2) 伴奏音楽	p13
(3) 舞台・きっかけ出し係・作品の始め方	p14
(4) 小道具・衣装	p15
(5) 照明	p17
(6) 大会期間中の上演に関わる進行	p17
(7) 上演中のトラブル	p21
(8) 注意事項	p21
(9) 作品発表に関する問い合わせ先	p21
(10) 参加辞退、出演する部門の変更について	p21
5. 違反について	p22
Ⅴ 大会期間中の手続き・注意事項	
1. 受付	p23
2. 会場	p23
3. 式典	p26
4. 大会マナー	p27
5. 肖像権、写真・映像の使用について	p28
Ⅵ その他の申し込み	
1. 広告協賛	p29
2. 『女子体育』の販売と作品映像について	p29
3. 写真撮影申し込み	p30
4. 各種鑑賞チケットについて	p31
Ⅶ 諸連絡	p33
【資料】 B用紙 記入上の注意事項・記入例	p34
よくある間違いの事例	p40
全体のスケジュール	p41

【第 36 回大会における変更点】

昨年度と異なる点を示します。詳細は7月上旬までに大会ホームページ上で公表します。

ご理解の程、よろしくお願い致します。

変更点	第 35 回	第 36 回	掲載ページ
小道具	あり (大きさの規定あり)	昨年同様	p. 15-16
場当たり	あり	なし	p. 2
作品分数	出入りを含める	昨年同様	p. 8
ウォームアップエリア	新設	昨年同様	p. 23-24, 27
待機場所	あり (体育館観客席)	昨年同様	p. 25, 27
楽屋から舞台への動線	変更	昨年同様	p. 18-20, 24-25
創作コンクール部門<予選>	一般販売 (有料)、 学割席あり、 照明なし	高校は 2 日間、 一般販売 (有料)、 学割席あり、 照明なし	p. 25, 31-32
創作コンクール部門<決選>	一般販売 (有料)、 学割席あり、 照明あり	一般販売 (有料・払 い戻し無)、 学割席あり、 照明あり	p. 25, 31-32
参加発表部門の最大出演者数	30 名	40 名	p. 8
使用曲目の申請について	別紙資料	別紙資料	p. 10
開会式	対面開催	日程変更 (大会 2 日 目)、出演者以外の 部員参加可 (体育館 入館証必要)	p. 26
体育館入場者登録 (新規)		あり	p. 5
事前説明会 (新規・任意)		オンライン	p. 33

なお、自然災害の発生、予期することのできない異常な事態の発生等様々な状況により急遽大会内容を変更する可能性があります。大会ホームページの更新を定期的にご確認ください！

第 36 回全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸）

I 開催日程

○事前説明会		5月11日（土）	オンライン（任意参加）
○顧問会議		8月1日（木）	オンライン
○創作コンクール部門・打合等			
予選上演打合	高校	8月6日（火）	10：00～13：00
	大学	8月6日（火）	10：30～12：30
決選上演打合		8月7日（水）	高校①／大学① 18：30～19：00
		8月8日（木）	高校②／大学② 9：10～9：40
割り当て練習 <体育館>		8月6日（火）	9：00～16：00（予定）
	場当たり	今年度はなし	
○開会式 <体育館>		8月7日（水）	17：30～18：15
○創作コンクール部門・予選		有料公開	全席指定
高校の部	<大ホール>	8月6日（火）	16：00～19：15
		8月7日（水）	9：50～15：30
大学の部	<中ホール>	8月7日（水）	10：00～14：15
○創作コンクール部門・決選		有料公開	全席指定
高校の部	<大ホール>	8月8日（木）	10：30～14：45
大学の部	<大ホール>	8月8日（木）	16：00～18：00
○参加発表部門・上演準備			
	<中ホール>		
参加上演打合		8月7日（水）	両部門参加校 15：00～17：30
		8月8日（木）	参加発表部門のみ参加校 9：30～10：10
照明下見		8月8日（木）	11：30～17：00（予定）
○参加発表部門・本番		有料公開	全席指定
	<中ホール>	8月9日（金）	9：45～13：15（予定）
○表彰式・特別プログラム		8月9日（金）	有料公開 全席指定
	<大ホール>	1回目公演	14：45～17：40（表彰式含む）
		2回目公演	18：30～20：55

Ⅱ 第 36 回全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸） 手続き等一覧

ホームページ 公開内容	時期	内 容
	3 月初旬	第 36 回大会公式ホームページ（大会開催要項）
	5 月下旬	参加校及び上演順
	7 月中旬	上演打合・出演時間予定表（確定版は 8 月上旬公開予定）
	8/7（水）	予選結果
	8/8（木）	決選結果

		期間	内 容	備 考
ホームページより 【Web申込】	学校 申込	4/1（月）0：00～ 4/17（水）23：59 まで	参加申込 ・創作コンクール部門 ・参加発表部門	・参加人数調査（予定人数で 構わない）
		6/ 1（土）10：00～ 6/18（火）17：00 まで	プログラム原稿 使用曲目報告書 提出	・プログラム原稿は、A 用紙 と同じ内容であること ・プログラム原稿提出後は 参加者の変更は不可
			参加人数登録	
			大会プログラム追加申込	
			学割席チケット申し込み	
		開会式参加人数登録		
		6/27（木）～ 7/9（火）15：00 まで	参加料等の支払い （・グループ登録料 ・顧問登録料 ・個人参加料 ・入場証発行費 ・ <u>使用曲目申請費</u> ・ <u>体育館入館証発行費</u> ・大会プログラム追加申込 ・学割席チケット代金）	銀行振込、コンビニ決済（※ 学校申込はクレジット決済 不可）
	一般	4/ 1（月）0：00～ 6/18（火）17：00 まで	広告協賛（文字広告・写真広 告）申込	銀行振込
		後日ホームページにてお知らせ	各種鑑賞チケット申込 （6/1（土）～を予定）	銀行振込、コンビニ決済、ク レジット決済

	期間	内 容	部数・サイズ	送付先	備 考
【郵送】	6/1 (土) ~ 6/18 (火) *消印有効	A 用紙 (A-1・A-2)	15 部・A4	AJDF 東京分室 (p.12 参 照)	・プログラム原稿と同じであること(参加発表部門はA-1のみ)
		B 用紙	15 部・B4		・A4をB4サイズに拡大コピーして使用すること
		CD	3 枚		・本番用音楽(返却しない)
		音響、舞台美術の工夫の調査 (コンクールで該当する場合のみ)	1 部・A4		
		著作権利用許諾証明書(該当校のみ)	1 部		・郵送期間に確認が間に合わない場合には後日AJDF 東京分室宛にメールで添付し連絡すること。

その他の申し込み日程

機関誌『女子体育』 (AJDF 報告特集号) 申込	大会期間中 ~	(公社) 日本女子体育連盟
舞台写真撮影申込	4/1 (月) ~ 7/31 (水)	フォトスタジオ八木

出演者変更届

<p>出演者変更届用紙記入(大会ホームページ参照) ・参加登録後にやむを得ず変更があった場合に限る</p> <p>AJDF 東京分室問い合わせフォーム https://forms.gle/abSP55u9WNb7Gpbb9</p> 	<p>AJDF 東京分室問い合わせフォームにて送付。</p> <p>8月1日以降の変更は、出演者変更届を東京分室問い合わせフォームにて送付。 <u>さらに大会会場の受付に原本を提出すること。</u></p>
---	--

Ⅲ 開催要項

1. 趣 旨

ダンスは、人間の心身を投じての自己開発として、自我意識にめざめ美的運動欲求の高まる青年期にはとりわけ重要な意義をもつものである。わが国においては、近年急速に各種のダンス体験を求め人々が増加し、ダンスによる交流にも目覚ましい変化が現れつつある。その先駆けとして昭和63年から開催されている本ダンスフェスティバルは、年ごとに大きな喜びをもって迎えられ成果をあげている。

スポーツの種目ごとに見られる振興活動に比較し、ダンスの全国レベルの交流は発展の途上であり、特に高校・大学においては、さらなる充実が求められるところである。そこでわが国の高校・大学におけるダンス教育の一層の発展を期して、一人ひとりの若い力を燃え立たせる機会となるよう祈念して本大会を開催するものである。

2. 内 容

- (1) **創作コンクール部門** : 生徒・学生によるオリジナル創作作品とする。
- (2) **参加発表部門** : 創作ダンスの他にも、ダンスの種類を問わず上演できる。

3. 参加登録費等

① グループ登録料	1部門あたり	12,000円
② 個人参加料・顧問登録料	一部門のみの参加者(きっかけだし係を含む) 1名分	2,000円
	両部門への参加者(きっかけだし係を含む) 1名分	3,000円
③ 入場証発行費	②の1名につき	1,000円
④ 使用曲目申請費	1部門あたり	2,000円
⑤ 体育館入館証発行費	②以外の部員で体育館(開会式・割り当て練習・ウォームアップエリア)に入館する者1名につき	1,000円

※④に関しては発生しない場合もある。p.11「使用曲目申請費について」を読み、判断すること。

4. 審査と表彰・講評

(1) 創作コンクール部門

- ① 創作コンクール部門は、予選審査を経て決選審査を行う。
- ② 審査員は、次の専門分野から構成する。

スポーツ庁	舞踊学	体育学・教育学	舞踊家
舞踊評論家	関連芸術領域専門家	神戸市	

- ③ 予選、決選とも、審査員は自身が指導するグループの作品については、点数をつけない。
- ④ 予選審査は、高校・大学それぞれ6名で行う。審査員それぞれが10点満点で採点し、全作品の採点終了後、その審査員の評価点の平均値と標準偏差*をもとに、作品ごとの偏差値**を算出する。6名分の偏差値の合計をその作品の得点とし、得点の上位から予選通過グループとする。

* 標準偏差=採点の散らばり具合を算出した数値で、ばらつきが大きいほど大きな値をとる。

**偏差値=10×((その審査員が与えた作品Aへの評価点 - その審査員の平均点)+標準偏差)+50

- ⑤ 予選結果については、予選通過グループの予選番号一覧と予選通過の得点（学校名は非公開）を大会ホームページおよび大会公式インスタグラムアカウントにおいて公表する。
- ⑥ 決選審査は12名で行う。それぞれが「創作作品の完成度の高さ」という観点で、100点満点で採点する。最高点及び最低点を（複数人数が同点をつけている場合にはそれぞれ1名分ずつ）除き、残る10名の合計点を総得点とする。但し、このようにして算出した総得点の等しい作品があった場合には、最高点と最低点を加えた得点で比較して判断する。総得点が第1位となった作品に対して【文部科学大臣賞】が与えられる。
- ⑦ 決選審査員はそれぞれ80点以上と評価した作品について【三賞】【特別賞】の各観点でも評価する。観点ごとに適とされた数を集計し、総得点順位8位以内の作品から【三賞】、16位以内の作品から【特別賞】の各賞を決定する。適とされた数が同数の場合は、総得点の高い作品にその賞が与えられる。
- ⑧ 総得点が16位以内であって【文部科学大臣賞】【三賞】【特別賞】の各賞に該当しなかった作品のうち、総得点が高い作品に対して【奨励賞】【審査員賞】が、高校の部のみ【準入賞】が与えられる。

⑨ 各賞と評価の観点

a. 【文部科学大臣賞】

「創作作品の完成度の高さ」の評価において、総得点が第1位となった作品に対して

b. 【三賞】（総得点が8位以内の作品の中から）

NHK賞	主題のすぐれた展開・構成に対して
日本女子体育連盟会長賞	生き生きした生命力あふれる表現に対して
神戸市長賞	新境地を切り開く独創的な発想の探究に対して

c. 【特別賞】（総得点が16位以内の作品の中から）

特別賞	主題にふさわしい斬新な動きの発見に対して
特別賞	感性にあふれたすぐれた動きのテクニックに対して
特別賞	クロスカルチャーへの新しい挑戦に対して
特別賞	主題にふさわしい演出効果（音楽、衣装、小道具など）の工夫に対して（申告制）

- d. 【奨励賞】【審査員賞】（総得点が 16 位以内の作品の中から）

奨励賞	a～c での受賞に該当しなかった作品のうち、総得点が最も高い作品に対して
審査員賞	a～c での受賞に該当しなかった作品のうち、総得点が高い作品に対して（受賞数は参加校数に応じて決定する）

- e. 【準入賞】（総得点が 16 位以内の作品に対して）

準入賞（高校の部のみ）	審査員賞に次ぐ得点で上位 16 位までの作品に対して （表彰状の授与は行うが、特別プログラムでの上演は行わない）
-------------	---

***参加要項に記載されている規定に違反した場合、参加取り消しや審査対象外、減点対象となることがある。**

(2) **参加発表部門**

作品上演直後に、コメンテーターによる講評を行う。

(3) **創作コンクールおよび参加発表部門の作品の講評**

(公社)日本女子体育連盟発行の『女子体育』（第 36 回 AJDF 報告特集号）に全作品の講評および写真を掲載する。

IV 参加要項

1. 参加資格

- ① 国公立・私立高等学校、大学、短大、およびこれに準ずると主催者が認める学校に在籍する生徒・学生で組織されたグループで、校長・学長もしくはそれに準ずる者が参加を認めていること。
- ② グループは、同じ学校に在籍する生徒・学生で組織されていること。

2. 部門及び内容

(1) 創作コンクール部門

- ① 内容：生徒・学生によるオリジナル創作作品とする。
- ② 人数：5名以上30名以内の群舞作品とする。
出演者以外の人員が関与することは認めない。きっかけ出し係は、1作品につき1名（出演者、出演者ではない生徒・学生、指導者のいずれかで、入場証を有する者。高校は原則として指導者）とし、作品の開始時に舞台下手袖に待機するものとする。
- ③ 時間：照明の有無に関わらず、小道具の出し入れ時間、出演者の舞台への出入りの時間を含めて、高校3分～4分30秒、大学3分～6分以内とする。
※計時は、アナウンス終了時から出演者が舞台上からの退場を完了するまでとする。
※出演者の板付は、アナウンス終了後に行う。
- ④ 作品における客席・花道の使用は認めない。
- ⑤ 創作コンクール部門への出品は1校1作品のみとする。同一作品を参加発表部門に出品することは認めない。
- ⑥ 予選ならびに決選順については、抽選により実行委員会が決定し、5月下旬に大会ホームページに掲載する。
- ⑦ 予選通過後の振付・小道具・衣装・出演人数等、作品に関わる変更は認めない。
- ⑧ 受賞作品は8月9日（金）の特別プログラム（2回公演）において上演する。
- ⑨ 高校の部の準入賞は特別プログラムでの上演は行わないが、表彰式で表彰状の授与を行う。表彰式に欠席の場合は、受賞校名の読み上げのみ行う。
- ⑩ 顧問会議は、8月1日（木）にオンラインで行う。高校は顧問、大学は顧問または代表者1名が**必ず参加すること**。録画の配信はしないので注意する事。詳細については、メールや大会ホームページで後日通知する。

(2) 参加発表部門

- ① 内容：創作ダンスに限らず多様な種類のダンスの上演を行う。
- ② 人数：5名以上40名以内の群舞作品とする。
出演者以外の人員が関与することは認めない。きっかけ出し係は、1作品につき1名（出演者、出演者ではない生徒・学生、指導者のいずれかで、入場証を有する者。高校は原則として指導者）とし、作品の開始時に舞台下手袖に待機するものとする。
- ③ 時間：高校・大学ともに、照明の入れ方・消し方に関わらず、小道具の出し入れ時間、出演者の舞台への出入りを含めて3分30秒以内とする。
※計時は、アナウンス終了時から出演者が舞台上からの退場を完了するまでとする。
※出演者の板付は、アナウンス開始と同時に行う。

- ④ 作品における客席・花道の使用は認めない。
- ⑤ 参加発表部門への出品は1校1作品のみとする。同一作品を創作コンクール部門に出品することは認めない。出演順は、抽選により実行委員会が決定し、5月下旬に大会ホームページに掲載する。
- ⑥ 参加発表部門の申込数が45校をこえた際は、抽選で出演校を決定する場合もある。(抽選は実行委員会が厳正に実施し、出演不可となった学校には、5月8日(水)までに連絡する。)
- ⑦ 顧問会議は、8月1日(木)にオンラインで行う。高校は顧問、大学は顧問または代表者1名が**必ず参加すること**。録画の配信はしないので注意する事。詳細については、メールや大会ホームページで後日通知する。

3. 参加のための手続き

参加には、以下の(1)～(4)の手続きが必要となる。申込または振込、書類の提出を期限内に不備のないように行うこと。

- (1) 参加申込【Web】
- (2) プログラム原稿等の提出、参加人数登録、(以下、希望の場合)大会プログラム追加申込【Web】
- (3) 参加料等(グループ登録料・顧問登録料・個人参加料・入場証発行費・使用曲目申請費等)の入金【Web&振込】
- (4) A用紙・B用紙・CD(「音響(選曲や自作音など)の工夫」・「舞台美術(自作の衣装・小道具)の工夫)の提出【郵送】

(1) 参加申込

- ① 申込期間：4月1日(月)0:00～4月17日(水)23:59まで
- ② 申込方法：Web申込とする。大会ホームページより申込画面にアクセスし、必要項目を入力。
※期日が過ぎた場合の参加は認められないので、注意すること。また、記載事項の不備により、参加が認められない場合もある。
※参加人数はプログラム原稿提出(6月1日～18日)をもって確定とする。

(2) プログラム原稿等の提出、参加人数登録、(以下、希望の場合)大会プログラム追加申込

※知的財産権の保護のための「使用曲目報告書」は両部門とも提出する。

- ① 提出・登録(申込)期間：6月1日(土)10:00～6月18日(火)17:00まで
- ② 提出・登録(申込)方法：上記期間中に大会ホームページ上のプログラム原稿送信フォームにアクセスし、画面上の指示に従って送信する。

③ 注意事項

- ・プログラム原稿は、上演・審査のための資料としても使用するので、A用紙([A-1])と全く同じ内容であること。
- ・作品タイトルや内容に造り文字やイラスト、音読できない文字の使用は認めない。内容については、大会プログラムには1行で掲載されるので注意すること。
- ・プログラム原稿提出後は、内容や参加者の変更はできない。
- ・傷病等のやむを得ない理由で参加者を変更する場合は、出演者変更届(大会ホームページ参照)をAJDF東京分室問い合わせフォームにて送付すること。なお、8月1日以降の変更は、出演者変更届を東京分室問い合わせフォームにて送付し、さらに大会会場の受付に原本を提出すること。
<AJDF東京分室問い合わせフォーム><https://forms.gle/abSP55u9WNb7Gpbb9>

◆使用曲目について

＜使用曲とは、作品中で使用する全ての曲が対象となる。使用曲数が複数である場合は、それぞれの曲について申請すること＞

・別紙資料（『音楽著作物の使用に関するお知らせ』）の申請方法に沿うこと。

- ・無音または自作曲を使用する場合も「使用曲目報告書」を提出すること。
- ・JASRAC、NexTone、日本レコード協会に管理されている楽曲は実行委員会から一括申請を行う。
- ・JASRAC、NexTone、日本レコード協会以外の団体で管理する楽曲は、各グループで事前に手続きを行うこと。
- ・権利者に直接確認する際は手続きに時間を要する場合もあるため、余裕を持って申請を行うこと。
※権利者に許諾を受けた上で「使用曲目報告書」を提出すること。

【使用曲目の申請方法に関する問い合わせ：JASRAC、NexTone、日本レコード協会 各ホームページ内より行うこと】

＜ 算出例 ＞

例 創作コンクール部門（20人）と参加発表部門（40人）に出演し、顧問（1人）と指導者（1人）
 両部門きっかけ出し生徒（1人）体育館入場者（4人）の場合
 ※但しその内の創作コンクールのみ出演者が12人、参加発表のみ出演者が27人の場合
 （1部門出演者は39名、両部門出演者は21名となる）
 ※ JASRAC 管理楽曲を創作コンクール部門で2曲、参加発表部門で1曲使用の場合

費目	人数など	計算式	金額
グループ登録料	両部門	→ 2×@12,000円	24,000円
顧問登録料（指導者も含む）	両部門	→ 2×@3,000円	6,000円
個人参加料（出演者・きっかけ出し係 <u>※顧問、指導者、出演者以外の場合</u> ）	1部門 両部門 きっかけ出し係（両部門）	→ 39×@2,000円 → 21×@3,000円 → 1×@3,000円	144,000円
入場証発行費 （顧問+指導者+出演者+きっかけ出し）	1+1+60+1	63×@1,000円	63,000円
体育館入場証発行費	4	4×@1,000円	4,000円
希望者のみ 大会プログラム追加申込	2冊	2×@1,200円	2,400円
該当の場合 使用曲目申請費 （※両部門で、JASRAC、NexTone、 日本レコード協会管理楽曲を使用する 場合）	創作コンクール部門 （高校）、参加発表部門の2作品分	2×@2,000円	4,000円
合計			247,400円

※1 チケットの販売方法については、大会ホームページに掲載する。

※2 入場証や大会プログラムは両部門参加者であっても1人につき、1枚（冊）の配布となる。

※3 出演しないきっかけ出し係が、生徒・学生である場合についても、個人参加料等を入金すること。

※4 出演者以外で楽屋に出入りできるのは、指導者1人+きっかけ出し係（指導者可）1人までとし個人参加料を入金すること。

※5 指導者は、顧問が2名以上参加、顧問以外の外部指導者などが参加する場合に指導者として登録する。顧問と指導者が同一にならないように注意すること。

※6 入金後は、原則として返金できないので注意すること。

(3) 参加料等（グループ登録料・顧問登録料・個人参加料・入場証発行費・使用曲目申請費等）の入金について

- ① 入金期間 : 6月27日(木)～7月9日(火) 15:00まで
- ② 入金方法

p.8「(2) プログラム原稿等の提出、参加人数登録、(以下、希望の場合) 大会プログラム追加申込」の受付終了後、各校の確定した参加料（グループ登録料・顧問登録料・個人参加料・入場証発行費・大会プログラム追加申込・使用曲目申請費・体育館入館証発行費・学割チケット代金）の金額を入金期間内に大会ホームページで確認の上、期日内に銀行振込またはコンビニ決済で支払う（学校申込はクレジット決済不可）。

◆**使用曲目申請費について**

①**JASRAC、NexTone、日本レコード協会が管理する楽曲を使用するグループ（両部門）**

- ・実行委員会より JASRAC、NexTone、日本レコード協会へ一括申請を行うが、各グループは使用曲目申請費として1部門あたり一律 2,000 円を支払うこと。JASRAC、NexTone、日本レコード協会が管理する楽曲かどうかは、別紙資料（『音楽著作物の使用に関するお知らせ』）を参照の上、確認すること。
- ・著作権が消滅している等、無料の楽曲を使用する場合は、使用曲目申請費の支払いの義務はない。
（※作品で使用する曲全てが無料の場合のみであり、複数曲使用のうち、1曲でも対象楽曲があれば、使用曲目申請費を支払う。）

②**JASRAC、NexTone、日本レコード協会以外が管理する音楽著作権のある楽曲のみを使用するグループ（両部門）**

- ・各グループが楽曲の権利者に直接申請し、事前に所定の手続きおよび別途、著作物使用料の支払いを行うこと。このため、使用曲目申請費を支払う必要はない。

(4) A用紙・B用紙・CD（・「音響（選曲や自作音など）の工夫」・「舞台美術（自作の衣装・小道具）の工夫」）の提出

各様式を大会ホームページから入手し、以下の注意と要領に従って作成、提出すること。

- ・各様式の書式等を勝手に変更しないこと。
- ・各様式の中には、基本シートへの入力内容が自動的に反映されるものがある。必ず基本シートから入力を開始すること。
- ・手書きによる記入が認められるのはB用紙のみ。

※創作コンクール部門参加作品は、該当する賞の審査を希望する学校のみ「音響（選曲や自作音など）の工夫」・「舞台美術（自作の衣装・小道具）の工夫」も作成し、提出する。

◆「音響（選曲や自作音など）の工夫」・「舞台美術（自作の衣装・小道具）の工夫」について

- ・主題にふさわしい選曲や自作音、自作の衣装・小道具の工夫は賞の対象となる。
- ・自作とは、出演者自身のみではなく、出演者が所属する高校・大学の在校生・在学生の作も含む。

- ① 提出期間： 6月1日(土)～6月18日(火)

※提出物（郵送）は6月18日の消印まで有効とする。

- ② 提出方法

① 上記期間中に「A用紙（創作コンクール部門はA-1 片面印刷15部、A-2 片面印刷15部／参加発表部門は、A-1のみ片面印刷15部）・B用紙15部（衣装に着色した原本を含め

る)・CD 3枚・(「音響(選曲や自作音など)の工夫」・「舞台美術(自作の衣装・小道具)の工夫」1部)を併せて、角型2号の封筒に入れて、以下③へ郵送する。

- ②宅急便、メール便、料金後納郵便などの消印が確認できないものや、直接受取が必要なレターパックプラス(赤)や書留など(簡易書留、後払い郵送も含む)の郵送は不可とする。但し、レターパックライト(青)は可とする。

③ 郵送先及び問合せ先

(公社)日本女子体育連盟 AJDF 東京分室 ダンスフェスティバル係
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1 NYC内



AJDF 東京分室問い合わせフォーム：<https://forms.gle/abSP55u9WNb7Gpbb9>

④ A用紙・B用紙(15部)

A用紙：2種類(A-1、A-2)ともにプログラム原稿と全く同じ内容であること。

※参加発表部門はA-1のみ。

※A-1、A-2はそれぞれA4サイズで15部印刷し、両面印刷はしないこと。

また、それぞれを束ねて提出すること。

※タイトルには、顔文字や絵文字などを使用しないこと。

※作品解説には、学校名など上演校がわかる語句の記載および、イメージを表現するための写真などの貼り付けをしないこと。

※A用紙(A-1、A-2)のWeb申請後に変更しないこと。

※学校名に加え、スペースを空けずにグループ名を必ず記入すること。

B用紙：作品の進行のための資料、創作コンクール部門決選や参加発表部門における照明のための資料

※本要項巻末「B用紙 記入上の注意事項」を熟読すること。

※ホームページから様式を入手し、必要事項を入力(B用紙のみ手書き可)し、B用紙はB4サイズに拡大コピーして15部を提出する。

※B用紙15部のうち1部は“衣装”に着色をした原本となるものであること。

⑤ CD(3枚)

いずれの部門においても、作品上演にあたっての伴奏音楽にはCDを使用するため、伴奏音楽の規定(次ページ参照)に従って録音されたCD3枚を以下①～③の要領で提出すること。

※提出されたCDは、2枚を当日の上演で使用し、1枚は照明家のデザインの参考として使用する。そのため、CDの梱包方法は「2枚収納」と「1枚収納」に分け、それぞれ写真のような「不織布ケース」(色は自由)で提出すること。なお、いずれも返却はしない。

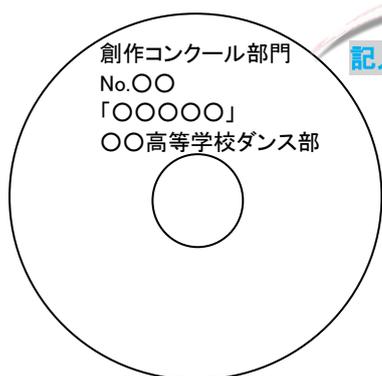
- ①CDと不織布ケースには、次項の図で示した場所に、

出品部門/出演番号/作品タイトル/学校(グループ)名を必ず明記すること。

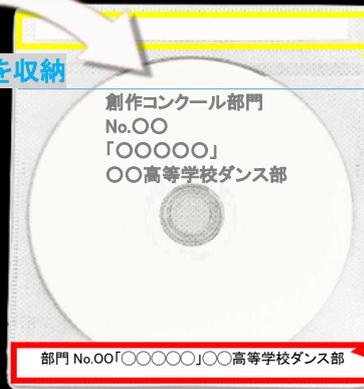
- ②不織布ケースのタイプは、写真のようにケース上部に整理のためのインデックスを貼れるスペースのあるものが望ましい。

- ③プラスチックケースやその他の収納方法(厚紙で保護するなど)は不要。

* CDへの記入例



記入した CD を収納



ケース上部の余白の部分には、整理のためのインデックスを貼るので、何も貼らないこと。

出品部門/出演番号/作品タイトル/学校(グループ)名 を片面(表面)下部のみに明記。

- ⑥ 「音響（選曲や自作音など）の工夫」・「舞台美術（自作の衣装・小道具）の工夫」（1部）（該当する学校のみ）
Web 上で入力した基本シートを印刷し、A用紙・B用紙・CDと共に郵送すること。
- ⑦ 「使用曲目報告書」は郵送する必要はない。プログラム原稿と一緒にアップロードすること。

4. 規定事項

(1) 著作物の引用について

ある著作物に発想を得て独自のものを創作することと、著作物を直接引用することは異なるので、本大会で公開しようとする作品の中で、他者の著作物（文学、美術、舞踊、写真、動画などの作品）の引用を行う場合は、その著作物の領域における引用ルールに準拠すること。計画の段階で様々な可能性（出典を示すのみで良い、許可を受ける必要がある、料金を支払う必要がある、など）について予め情報を収集し、各校で対応すること。著作権管理者が外国にある場合などは、連絡に時間がかかることが考えられるので注意すること。

(2) 伴奏音楽

<録音規定>

- a. 伴奏音楽は、新品 CD-R に1作品分のみを録音すること。
*「音楽用」と記された CD-R を使用することが望ましい。
CD 3枚は、いずれも全く同じ内容のものであることを入念にチェックしたうえで提出すること。
*大会当日の上演では、提出されたCDの音量操作などは、一切行わない。
- b. 伴奏音楽は編集済みのものとし、当日の操作は一切行わない（トラックを分けずに1曲に編集すること）。
- c. 作品の最初に無音部分がある場合でも、CDの最初には無音部分を作らない。作品無音部分のあと、音楽が必要なところできっかけ出し係の合図によってCDをスタートする。すなわち、音はCDの0分00秒からスタートする。
- d. CDは、オーディオCD形式で記録されたもののみ受け付ける。
データ形式 (wav, mp3, aiff, m4a 等) やDVDのものは使用できない。
オーディオCD形式の音源製作方法については、使用する機材、アプリケーションソフトのマニュアルを参照すること。

- e. 音楽著作権に違反する音源利用や事実と異なる情報（特に、人権侵害に関わる内容など）を伴奏内に編集することは厳禁とする。

(3) 舞台・きっかけ出し係・作品の始め方

◆舞台の大きさ

<大ホール> 間口 22.0m × 奥行き 15.8m

<中ホール> 間口 16.4m × 奥行き 15.8m

※実際に使用できる空間は両ホールとも、間口約 16.4m×奥行き約 11.0m

① きっかけ出し係

- ・本番の際、作品を熟知している人で、「作品の始め」及び「伴奏音楽開始」の合図をする人を各グループで必ず 1 人付けること。原則として、高校は指導者、大学は出演者以外の者とする。
- ・やむを得ず出演者が行う場合は、作品の始まりに板付きをしない者であること。
- ・出演者以外で舞台下手袖に入ることができるのは、B用紙に書かれた「きっかけ出し」係 1 名とする。
- ・やむを得ず「きっかけ出し」係が交代する場合は、必ず「上演打合」時に申し出ること。
- ・作品の進行はきっかけ出し係の指示に従って行うので、始まりの合図（以下 Q と表記）が正確に出せるように準備しておくこと。

【合図の仕方】 [片手を頭上に挙げて用意→素早く大きく振り降ろす=Q=「スタート」]

<楽屋・舞台下手袖に入ることができる者（入場証を必ず着用のこと）>

	高 校	大 学
楽屋入室可 (舞台下手まで可)	・出演者 ・指導者 1 名 ・きっかけ出し係（原則として指導者） 1 名	・出演者 ・指導者 1 名 ・きっかけ出し係（出演者が兼ねることも可能） 1 名
舞台下手袖入場可	・出演者 ・きっかけ出し係（原則として指導者） 1 名	・出演者 ・きっかけ出し係（出演者が兼ねることも可能） 1 名

② 作品の始め方（参加発表部門は【決選】の部分参照）

【予選】 (地明かり・ホリゾントのまま。大黒幕・黒紗幕は使用しない。)	音先行/動きと音 同時の場合	アナウンス終了→きっかけ出し係が音響に Q または アナウンス終了→板付→きっかけ出し係が音響に Q
	動き先行の場合	アナウンス終了→板付→無音で演技開始→きっかけ出し係が音響に Q
【決選】	音先行の場合	アナウンス終了→板付→きっかけ出し係が音響に Q
	照明先行の場合	アナウンス終了→板付→板付完了をきっかけ出し係が舞台監督に伝える→舞台監督から照明に Q→きっかけ出し係が音響に Q
	音と照明同時の場合	アナウンス終了→板付→板付完了をきっかけ出し係が舞台監督に伝える→舞台監督から音響・照明に同時 Q

★創作コンクール部門のアナウンスは「プログラムナンバー」と「作品タイトル」のみ。
グループ名は紹介しないので注意すること。

③ 舞台の出入り

a. 出演者の動き

- ・上演 4 作品前に、舞台袖入口付近に待機する（今年度より、個票の配布は行わない。待機する舞台袖は、「p.19 (6) 大会期間中の上演に関わる進行 ⑤ 楽屋から舞台への経路・舞台袖での待機場所」を参照）。
- ・両ホールとも、出演者は下手袖から舞台に出て上演し、上手袖にはけることを原則とする。板つきで始まる（終わる）場合、小道具の流れも、すべて同様である。
- ・作品開始の板付き以外は、作品途中で上手から登場して演技することが出来る（上手出として B 用紙に記入する）。上手出の演者は、作品開始前に舞台上を横切って下手から上手に移動する（舞台裏を通して上手に移動はしない。演技中に舞台裏を通ることは可能）。
- ・上手袖に小道具を設置する必要がある場合は、自校作品の上演開始と同時に、「下手→舞台（通り抜け）→上手袖に設置」をし、その後、板付き・下手待機とすること。この場合にのみ、上手から直接舞台に板付きすることを可とする（上手出が、小道具を設置することも可能）。
- ・作品途中で下手袖にはけたまま作品が終了する出演者は、作品終了後に下手袖から速やかに舞台上を横切って上手に移動する。その際、小道具だけが下手袖に残ることがないように注意すること。

b. きっかけ出し係の動き

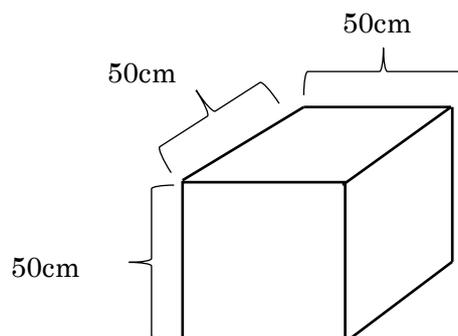
- ・きっかけ出し係 1 名（大学生の場合は出演者が兼ねることも可能）のみ下手舞台袖に入ることができる。
- ・きっかけ出し係は、作品上演中に下手袖から離れることはできない。作品上演後は、次の上演グループの邪魔にならない下手袖内で待機し、係の誘導に従い、自校出演者と合流して楽屋に移動する。

(4) 小道具・衣装（本要項巻末、「B 用紙 記入上の注意事項 B 用紙記入例」および大会ホームページ「よくある質問（上演）」を熟読すること。）

①小道具

a. 大きさ、数量、取り扱いについて

- ・小道具は 1 つの道具につき、上演打合時に設置する一辺 50cm の立方体の中に収まる範囲の大きさであること。舞台への出入りなどの持ち運びの際、この箱に収まるサイズで持ち運びを行うこと。



※ただし、参加発表部門に限り、バトントワリングのバトンのような競技種目の手具として利用される上記サイズ規格外の小道具の利用は、事前申請制で許可された場合のみ使用できる。

※参加発表部門において、上記サイズ以外の小道具を利用する場合は、B用紙提出前に事前に「東京分室問い合わせフォーム」にて使用する小道具（写真を添付）と、大きさ、数量、材質、使用場面、使用方法を届け出て、事前に許可を得た上で、B用紙を提出すること。

- ・本番を含むすべての状況で、出演者のみで管理、持ち運び、設置・撤去が可能なるものであること（出演者以外は小道具に触れることができない）。
- ・小道具を舞台袖まで持ち運ぶために籠や袋などを使用する場合は、作品中で使用するものでなくてもこれを小道具としてB用紙に記入すること。籠や袋などを舞台袖へ持ち込まない場合にはB用紙への記入は不要。
- ・吊り物は不可。
- ・舞台上に出演せず、衣装の早替えや道具の設置のための介添えをする黒子は許可しない。
- ・楽屋・廊下等での小道具の組み立て・解体は禁止する（舞台上は可）。
- ・小道具に変化を加える場合は、アナウンス終了後に行うこと。また上演後、上手に退場する際も小道具のサイズは元に戻すなど安全に留意して退場すること。
- ・スタンバイや上演終了後の撤去の際、小道具が前後のグループの上演（上・下手、舞台裏通路の移動など）の妨げにならないように考慮すること。上演の妨げとなる可能性のある場合は、「上演打合」で変更を指示する場合がある。
- ・小道具を使用する際は、必ずB用紙の「⑩小道具」欄に、「大きさ、数量、材質、使用場面、使用方法」などを具体的に明記すること。使用可能か判断がつかない場合は、「AJDF 東京分室問い合わせフォーム」から問い合わせること。
- ・規定に違反する恐れのある小道具に関して、舞台運営安全上問題がある場合を除き、事前に係から参加校へ連絡・確認することはしない。
- ・床（リノリウム）を傷つけたり汚したりしないよう小道具・舞台で使用する靴などの養生を行うこと。特にキャスターを利用する場合は、必ずビニールテープなどで養生し、剥がれないように練習ならびに確認をしてくること。
- ・滑り止めのための雑巾（ビニール敷き）を舞台袖に置く場合も、B用紙の「⑩小道具」欄に記入すること。

②衣装

- ・衣装はB用紙提出後でも変更を認めるが、照明案は変更できない。
- ・衣装の装飾品や付帯物で、踊っている間にはずれる可能性があるものは、必ず縫いつけること。シールタイプのスパンコール等、上演中に落下するものがないように十分留意すること。
- ・衣装の種類や変化については、B用紙に記入しなくてよい。
- ・帽子や靴など、身体から離れて使用するものは衣装でも小道具となるため、B用紙「⑩小道具」欄に記入すること。
- ・上演打合時に衣装を持参する必要はない。ただし、衣装が小道具となる場合は、持参すること。

(5) 照 明

予選：地明り、バックは Horizont を使用し、大黒幕・黒紗幕は使用しない。

決選・参加発表：提出された B 用紙を基に専門の照明家が操作するが、細かな指定やイメージについては、すべて対応できない場合もあるので、あらかじめ了承願いたい。

※B 用紙提出後の変更については対応できないので注意すること。

※衣装を変更しても、照明案は変更できないので留意すること。

※B 用紙に具体的な照明案の記入がない場合は、テクニカルスタッフへ一任する形となる。照明については、「B 用紙 記入上の注意事項 B 用紙記入例」を熟読し、参照すること。

(6) 大会期間中の上演に関わる進行

① 作品上演のためのスケジュール

参加グループの増減により、多少の変更が生じる場合もあるため、詳細は大会ホームページの最新版の出演順ならびに当日配布資料にて確認すること。

② 上演打合（舞台監督と上演担当者が行う）

以下のスケジュールは変更になる場合があります。詳細は大会ホームページの最新版の情報ならびに当日配布資料にて確認すること。

●創作コンクール部門（予選出場校）@大ホールロビー

8月6日（火） 高校 10:00～13:00 大学 10:30～12:30

●創作コンクール部門（決選出場校のみ）@大ホールロビー

8月7日（水） 高校① 大学① 18:30～19:00

8月8日（木） 高校② 大学② 9:10～9:40

●参加発表部門 @中ホールロビー

8月7日（水） 両部門参加校 15:00～17:30

8月8日（木） 高校・大学 9:30～10:10

◆確認内容

作品の始め方・終わり方、出演人数、板つき・上手待機・下手待機の人数の確認、きっかけ出し係（氏名）、小道具の確認、その他必要と思われること。

- ・上演打合は、1グループ1～2名とし、B 用紙の最終チェック（作品の始め・終わりの照明案、出演人数、きっかけ出し係、小道具の確認、その他特に必要と思われる注意点の最終確認）のために行う。
- ・提出済みの B 用紙の内容について、最終チェックを行う。
（けが等による出演人数やきっかけ出し係の変更、衣装の変更は B 用紙と異なっても可。）
- ・上演打合（予選）には、使用する小道具（舞台上へ持ち込むもの全て）を必ず持参すること（同じものを複数使用する場合は1つ。使用する道具の種類が分かるように持参すること。舞台上演の妨げになるものがないか、規定範囲内の大きさかのチェックを行う。）
- ・上演打合において、B 用紙に記入した小道具の数および大きさが減少することは認めるが、増加することは認めない。B 用紙から個数や大きさに変更が出た場合は、ここで必ず伝えること。
- ・決選の上演打合は、8月7日（水）または、8月8日（木）に行う。時間は変更になる場合もあるので、最新の情報を大会ホームページで確認すること。この際、小道具は指示を受けた場合のみ、持参する。
- ・所定の時間内に上演打合を済ませなかったグループは参加不可もしくは審査対象外とする。

★上演打合スケジュール（予選） 詳細は7月中旬に大会ホームページに掲載する。

やむを得ない理由により、上演打合に参加出来ない場合は、必ず事前に AJDF 東京分室まで連絡すること。

③ 参加発表部門照明下見および本番

※会場到着時の「登録受付」で配布される、詳細スケジュールに全て従うこと。

◆制限時間と場所

1チーム 約4分00秒+入れ替わり30秒 中ホール

◆進み方

楽屋→下手（上手）待機→通し稽古1回→照明の調整を含む場当たり→上手退場→楽屋

・本番同様に衣装や道具を使用すること。上演に際し照明家と特に打合せが必要な箇所について確認するため、地明かりのまま行う。

・指定された時刻に「照明下見」を行わないグループは参加不可とする。

★参加発表部門 上演進行予定表（基礎表） 詳細は7月中旬に大会ホームページに掲載する。

★参加発表部門本番（高校・大学） ※掲載時間は目安です。

8/9（金）	<中ホール>
出演	本番時間
前半	9：45～
後半	11：50～

④ ウォームアップから楽屋入り・本番まで

（詳しくはp.23 「V. 2. (1) ウォームアップエリア (2) 楽屋」の項を参照）

今大会では神戸市立中央体育館2階競技場をウォームアップエリアとし、楽屋入り直前の所定時間でウォームアップを行うことができる。

また、楽屋は以下の二つのうちいずれかの指定された場所を使用する。

使用場所・時間等の詳細は後日、大会ホームページに掲載する。

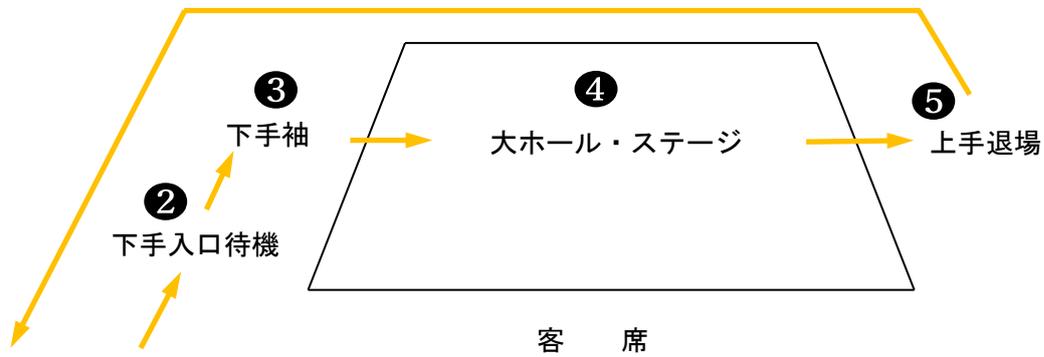
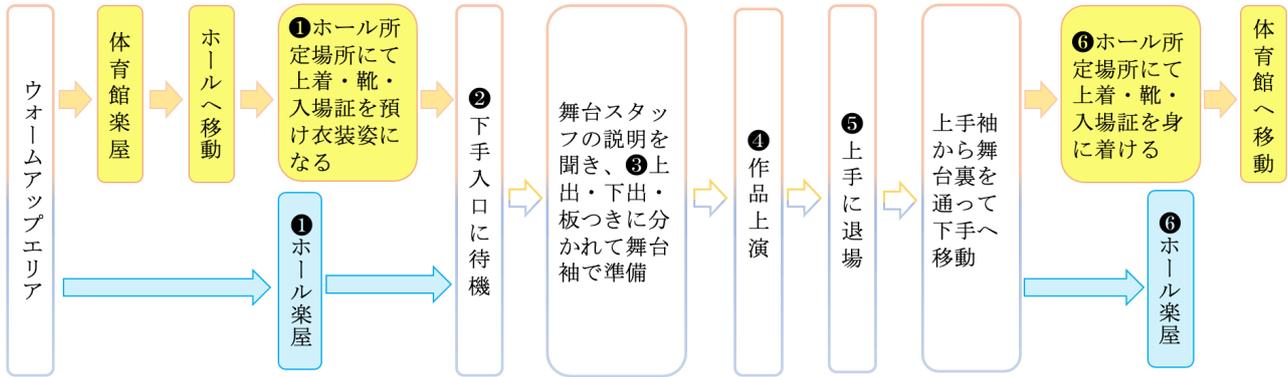
ホール楽屋：神戸文化ホール内 a) 大・中ホール付属楽屋 b) リハーサル室

体育館楽屋：神戸市立中央体育館内 1階体育室（文化ホールより徒歩約5分）

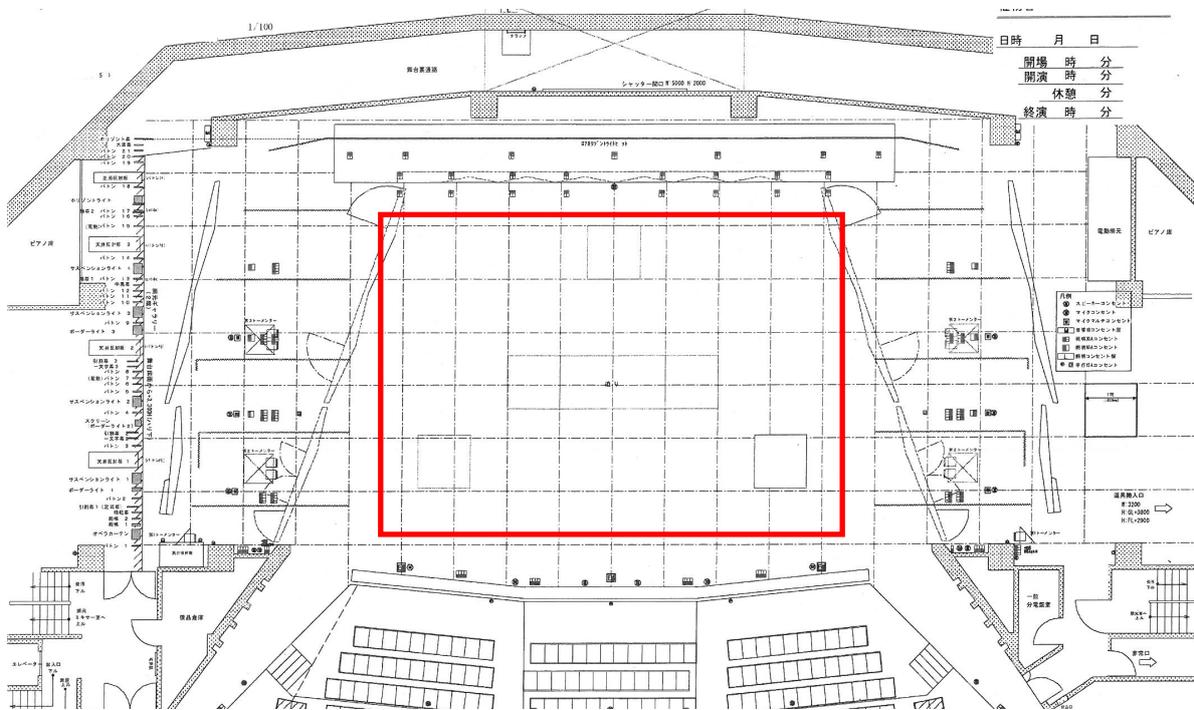
⑤ 楽屋から舞台への経路・舞台袖での待機場所

大ホール：創作コンクール部門 高校予選・決選、大学決選

* 体育館楽屋使用者はホールとの間の移動時間を考慮すること。



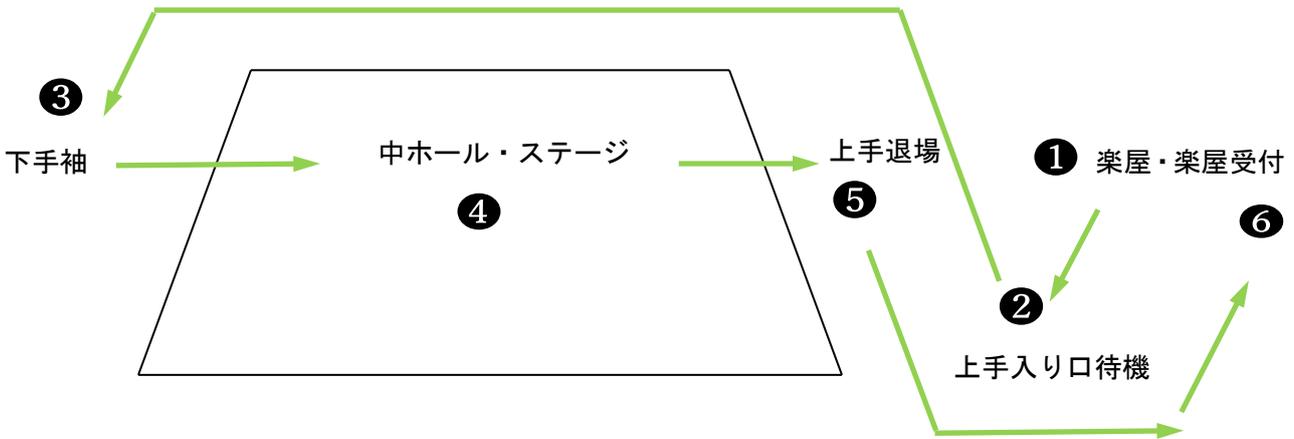
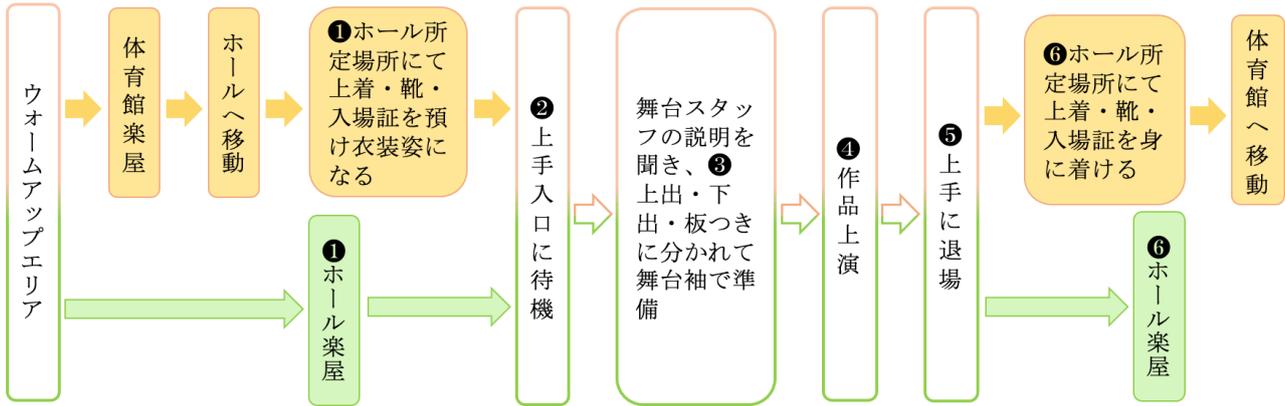
⑥ 楽屋受付・楽屋 ①



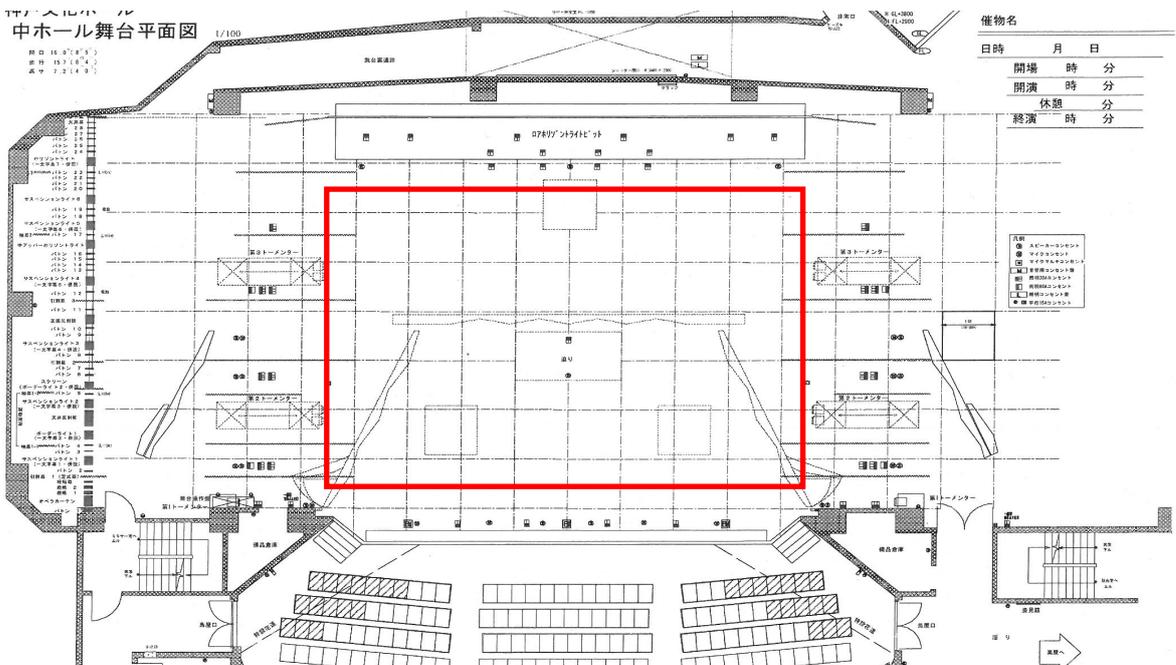
→ 演舞スペース

中ホール： 創作コンクール部門 大学予選、 参加発表部門 照明下見、 本番

* 体育館楽屋使用者はホールとの間の移動時間を考慮すること。



中ホール舞台平面図 1/100



→ 演舞スペース

注 意 (大ホール・中ホール)

※スタンバイや演技終了後に舞台裏の通路を通る時は、上演中の作品の妨げとならないように、通路の奥側を1列で通ること。

※前のグループの上演中は作品の妨げとならないように、舞台スタッフが指示した待機スペースで待つこと。上演中のチームは、待機スペースに侵入しないこと。

※舞台上および舞台裏の通路は、開演前に清掃をするが、裸足での上演、通行の際には、足元に注意すること。

※創作コンクール部門高校予選では黒紗幕を使用しないので、決選で使用するグループは、舞台奥のラインに十分注意すること。

※1幕目より前からの出入りは不可。

(7) 上演中のトラブル

上演中に事故・ミス等が起きた場合は、大会実行委員会の判断により、以下のように扱う。

- ① 主催者側の不手際で事故が生じた場合は、原則として再演する。
(但し、審査のない「特別プログラム」上演での再演はしない。)
- ② 出演者側のミスで事故が生じた場合は、きっかけ出し係に続行か中止かの判断を求める。
(この場合、再演はしない。)

(8) 注意事項

- ① 舞台上への火気、危険物の持ち込みは厳禁。
- ② 貴重品の管理は各グループで行うこと。万が一、盗難等の事故が生じても、主催者は責任を負わないので十分注意すること。
- ③ 舞台袖で濡れ雑巾を使用する場合、必ずビニール等を敷き、床を濡らすことのないように注意すること。この場合、B用紙の「⑩小道具」欄に詳細(ビニール・雑巾の数、設置場所)を記入すること。

(9) 作品発表に関する問い合わせ先

AJDF 東京分室

AJDF 東京分室問い合わせフォーム：<https://forms.gle/abSP55u9WNb7Gpbb9>



<メールで問い合わせる場合>

件名の最初に【AJDF36】と記載し、タイトルと学校名を書くこと。

例：【AJDF36】〇〇について (〇〇高校)

(10) 参加辞退、出演する部門の変更について

参加を取り消す場合には、必ず神戸市文化スポーツ局スポーツ企画課に申し出ること。

→神戸市文化スポーツ局スポーツ企画課 edu-ajdf@office.city.kobe.lg.jp

両部門参加から、1つの部門の参加になる場合も、必ず申し出る事。

5. 違反について

大会のスムーズかつ公正な実施・運営を妨げる、以下の①～⑧の違反行為があった場合、その事実が判明した時点で当該作品の大会への参加を不可とし、速やかに学校宛にこれを伝える。また、同様の理由で、大会期間中であっても参加取り消しや失格、コンクール部門では審査対象外や減点対象となる場合がある。その場合は大会本部において顧問（指導者）にこれを伝える。

- ① 参加資格や内容の違反
 - p.8に記載された参加資格や内容に違反した場合
- ② 大会前の提出物等の遅延や誤り
 - 災害等の特殊事情がある場合以外の、下記の提出物等の遅延、また提出物送付方法の誤り
 - ・参加申込、A用紙、B用紙、CD、プログラム原稿、登録料振込
 - ・使用曲目報告書（両部門）
 - ・「音響」「舞台美術」の調査用紙（創作コンクール部門の該当グループのみ）
- ③ 出演者・出演人数についての違反
 - ・出演者・出演人数はA・B用紙、プログラム原稿提出をもって確定とし、これ以降の変更を認めない。ただし、傷病等の理由で出演者・出演人数をやむなく変更せざるを得ない場合のみ、出演者変更届（大会ホームページ参照）をAJDF東京分室問い合わせフォームにて送付すること。なお、8月1日以降の変更は、出演者変更届を東京分室問い合わせフォームにて送付後、さらに大会会場の受付に原本を提出すること。
- ④ 舞台・ウォームアップエリア・楽屋等に関する違反
 - リノリウム床・ Horizont幕・照明器具、体育館の床等、その他の会場設備を破損した場合（この場合、修理等にかかる費用が請求されることもある）
- ⑤ 小道具・衣装に関する違反
 - ・装置を持ち込み、上演に用いた場合
 - ・届け出た衣装や小道具自体に問題がなくても、これらの使用によって前後の出演グループの妨げとなった場合
 - ・衣装・小道具等の使用によって会場設備を汚したり破損したりした場合
 - ・衣装・小道具等を舞台上や舞台袖に残して退場したり、上演中に客席などに落としたりした場合
- ⑥ 伴奏音楽に関する規定違反
 - ・＜録音規定＞ e.「音楽著作権に違反する音源利用や事実と異なる情報（特に、人権侵害に関わる内容など）を伴奏内に編集することは厳禁とする。」に違反した場合
 - ・自作曲でないのに、使用曲目申請がない楽曲を使用した場合
- ⑦ 大会期間中に定められた場への欠席
 - ・定められた場とは、「登録受付」「参加校受付」「顧問会議」「上演打合」「照明下見」を指す。事前に個別の呼び出しを受けている場合はこれも含む。
- ⑧ その他
 - ・大会会場全てにおけるマナー違反、等

V 大会期間中の手続き・注意事項

1. 受付

(1) 登録受付 <エントランスホール>

- ・参加人数の確認
 - ・プログラム・入場証・ストラップ・係からのお知らせの受け取り
 - ※出演者数が多数の学校は2名で来ること。
 - ※出演者・指導者・きっかけ出し係は大会期間中、入場証・ストラップを必ず着用すること。但し、上演打合についてはこの限りでない。
- (本大会以外の入場証を使用したり、未登録者が登録者の入場証を使用することは許されな
い。)

登録受付 … 到着初日

- ★創作コンクール部門…8月6日(火) 高校プログラム番号 NO.1~NO.35 (予定)
7日の出演の早いチーム (後日大会ホームページでお知らせ)
8月7日(水) 高校プログラム番号 NO.36 (予定) ~のチーム・大学
※詳細については、後日大会ホームページをご確認ください
- ★両部門出演校…両部門ともコンクール登録受付時に行うこと。
- ★参加発表のみの出演校…開会式に参加する学校は、8月7日(水)の16:00~17:00の間に受付を済ませること。参加しない学校は、8月8日(木)9時30分までに行うこと(上記以外の時間帯の受付はしない)。

(2) 参加校受付(登録受付翌日以降) <エントランスホール>

- ※出演日(毎日)、楽屋に入る前に必ず行ってください。
- ・出演者の確認、係からのお知らせ(変更点など)の受け取り

8月6日(火)	12:30~18:00
8月7日(水)	8:10~16:30
8月8日(木)	8:30~16:00
8月9日(金)	8:10~13:30

2. 会場

(1) ウォームアップエリア<神戸市立中央体育館2階競技場>

ウォームアップエリアでは、本番前の楽屋入り直前の所定時間でウォームアップを行うことができる。なお、大会1日目には同場所にて創作コンクール部門出演校を対象とした割り当て練習を実施する。割り当て練習及びウォームアップエリアの詳細・割り当ては後日、大会ホームページに掲載する。

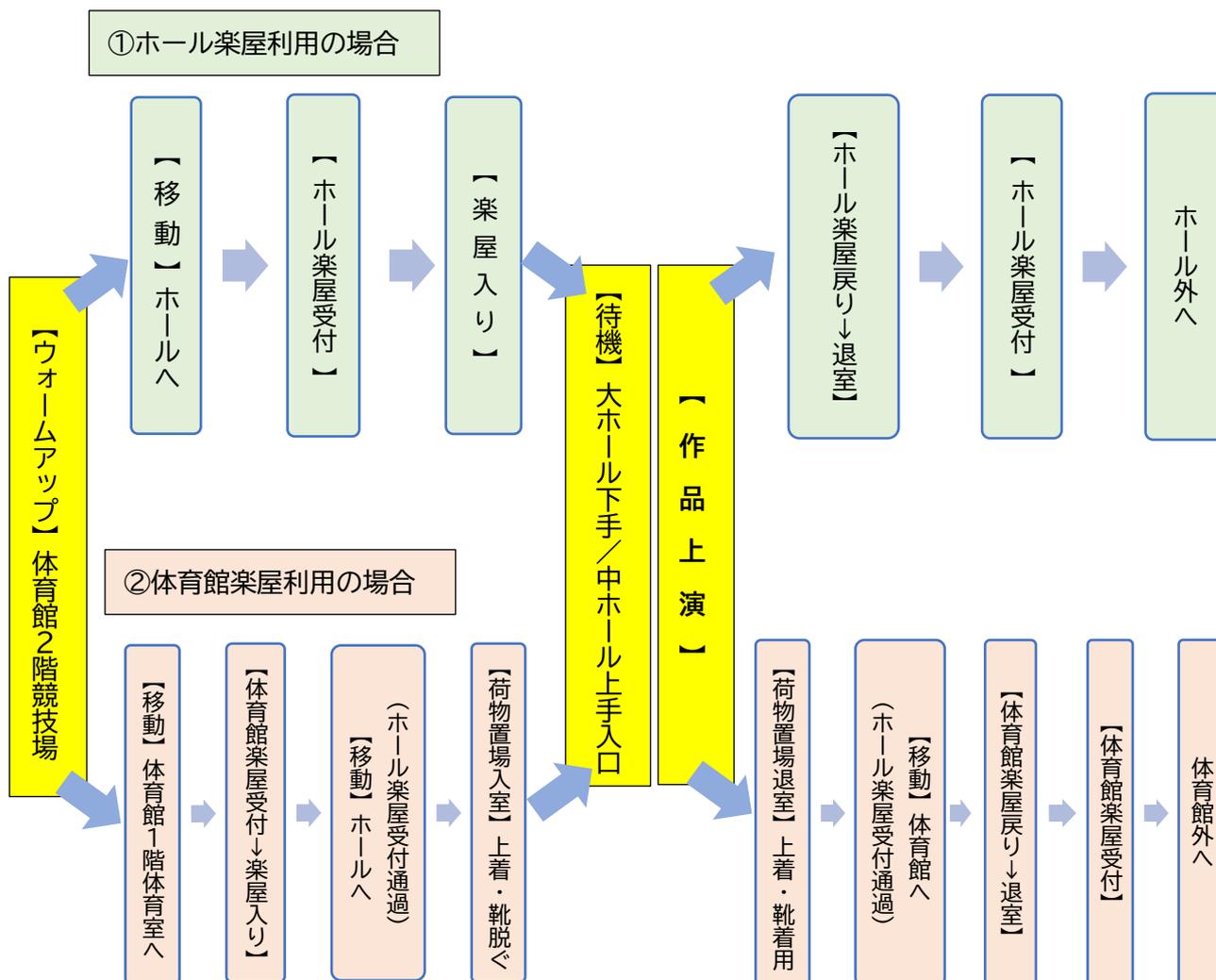
(2) 楽屋<大ホール楽屋・中ホール楽屋・リハーサル室・体育館1階体育室>

今大会では、以下の場所を楽屋とする。

ホール楽屋: 神戸文化ホール内 a) 大・中ホール附属楽屋 b) リハーサル室

体育館楽屋: 神戸市立中央体育館内 1階体育室(文化ホールより徒歩約5分)

以下のルートを守り、各チーム指定された時間に舞台まで来ること。なお、今大会では前項（１）のウォームアップエリアを利用した後に楽屋入りとなる。



- ・ ホール楽屋と体育館楽屋では舞台までの移動に必要な時間が異なる。
- ・ 体育館楽屋を使用する場合は、衣装着用・メイクの後に上着・靴・入場証を身に付け、ホールへ移動する。その後、ホール内の所定の場所で上着・靴を脱いで衣装姿になる（靴は各自用意した靴袋に入れる）。上演後は、同じ場所で再び上着・靴・入場証を衣装の上から身に付け、体育館楽屋へ移動する。
- ・ ホール楽屋、体育館楽屋にはそれぞれ受付がある。楽屋入退室の際は、各グループ全員が揃った上で楽屋受付を行うこと。
- ・ 不審者の侵入を防止するために、楽屋受付を通る際は入場証の着用が義務づけられている。入場証は必ず首にかけ、タオル等で隠れないようにすること。
- ・ 楽屋受付を通ることが許可されるのはB用紙で登録されている出演者・指導者1人・きっかけ出し係1人のみとする。また、下手袖に行くことが許可されるのは出演者・きっかけ出し係1人のみとする。
- ・ いずれの場合にも楽屋からの誘導は行わないので各チームで時間に注意し、行動すること。

※ウォームアップエリア及び楽屋使用時間・場所・注意事項等の詳細は後日、大会ホームページで知らせる。



(3) 待機場所<神戸市立中央体育館観客席>

大会期間中、体育館観客席を待機場所として使用することができる。

(4) ホール入場・客席

- ① 創作コンクール部門（高校・大学予選および決選）、参加発表部門は有観客で行う。全席指定席（有料）とする。
- ② 特別プログラムは全席指定席とする。※2回公演
- ③ 特別プログラムを除く2階席は、学割席（学校ごとのエリア指定）として販売する。入金後の返金（払い戻し）は一切行わない。
- ④ 自校作品のみを入学して鑑賞する特別な対応は行わない。
- ⑤ 一般鑑賞チケットは抽選により販売を行う（一次販売）。一次販売終了後に残席がある場合には先着によりオンライン販売を行う（二次販売）。現地での販売は行わない。入金後の返金（払い戻し）は一切行わない。二次販売で販売された高校決選（前半・後半）のチケットについてのみ、発券前に限りオンラインでのリセールを公演前日の23時頃までおこなう予定である。詳細は、後日大会ホームページにて掲載する。
- ⑥ いずれの部門も乳幼児の入場はできない。
- ⑦ 客席は非常に混雑するため安全面を考慮し、キャリーバッグの持ち込みを禁止する。各グループの宿泊先またはホール内のロッカーを使用すること。但し、ホール内有料ロッカーの数は大変少ないので、それを踏まえて事前の準備、並びに当日の対応を計画すること。今回は試験的にキャリーバッグの一置き場としてのスペースを設置する予定。但し、管理については各自で行い、大会本部は紛失・破損についての責任は一切負わない。

3. 式 典

(1) 開会式

開会式には、保護者・一般の方の入場はできない。

日 時	8月7日(水) 17:30~18:15 予定 (大会2日目)
場 所	神戸市立中央体育館
座 席	開会式の座席には、アリーナ席と観覧席を使用する。 各高校・大学共に大会出演者・顧問・指導者から開会式に参加希望人数を6/18(火) 17:00 までに Web 申込により申請(アリーナ席数と観覧席数)し、入場時には、登録受付時に配布される <u>入場証(または体育館入館証)・ストラップ</u> を必ず着用すること。座席指定の詳細は、後日、大会ホームページに掲載する。
入 場	集合時刻までに各校でまとまって入場すること(申請した人数のみ入場可能)。入場時には、登録受付時に配布される <u>入場証(または体育館入館証)・ストラップ</u> を必ず着用すること。(出場者以外の部員は制服または遠征着、体育館入館証・ストラップを着用すること) 後日、大会ホームページに掲載される人数を厳守すること。
荷 物	手荷物は必ず観覧席の下か膝の上に置くこと。 ※荷物で観覧席を占領しない。 アリーナに入る人は、荷物を観覧席に座る人に預けること。 通行の妨げとなるので、自席に置けない小道具等は持ち込まないこと。
参加校紹介	地域ブロックごとに紹介する。
宣 誓	参加校を代表して高校・大学各1校の代表者1名(計2名)が宣誓を行う。 宣誓メッセージは下記の通り募集する。 ※宣誓は、プログラムにて宣誓メッセージを掲載する(口頭での発表はしない)。 【応募内容・方法】 応募詳細については大会ホームページに掲載する。 【応募締切日】 5月24日(金) 17:00 まで 【選考方法】 6月上旬に実行委員会で抽選により宣誓者を決定し、提出の詳細(原稿締切日6月14日(金))等を連絡する。 【公募専用メールアドレス】 E-mail: alljapandancefestival.kobe@gmail.com
みんなでパフォーマンス	開会式の最後に、全員でダンスパフォーマンスを行う。 詳細は、後日、大会ホームページに掲載する。
そ の 他	高校・大学の予選講評は開会式後に行う。なお、予選結果については大会公式インスタグラム、大会ホームページで公表する。その他、詳細及び変更事項は大会ホームページに記載する。開会式参加の場合は事前に登録受付を済ませること(登録受付時に配布する入場証【または体育館入館証】・ストラップ必須)。

(2) 表彰式・閉会式

表彰式・閉会式は、特別プログラムで行う。

式典は、特別プログラム上演前に行われるため、特別プログラム（1回目）のチケットを持っていない方は入場できない。

日 時	8月9日（金）14：45～15：15（開場14：15頃）
場 所	神戸文化ホール 大ホール（指定席）
受賞チーム 代表者	受賞校の代表者2名が表彰式のリハーサルに出席すること。 <u>表彰の実施方法・リハーサル時間等については、受賞校発表直後に連絡する。</u> なお、 <u>高校の準入賞校については、特別プログラムでの上演は行わないが、表彰式で表彰状の授与を行う。表彰式に欠席の場合は、大会本部に届け出ること。</u>

4. 大会マナー

① 撮影（静止画・動画）・録音の禁止

・会場内（大ホール、中ホール、楽屋、**体育館**等）でのビデオ・動画撮影・写真撮影・録音は大会期間中厳禁とする。

② 楽屋の使い方、衣装での移動

- ・楽屋として指定されていない場所（ホール客席・ロビー・トイレ・屋外等）での更衣・化粧などは厳禁とする。
- ・体育館楽屋や宿泊先等で衣装を着用しホール外を移動する場合は、必ず上着を羽織ること。
- ・楽屋でのメイク（ヘアスプレー等含む）で床を汚さないよう、ビニールシート等を必ず用意すること。体育館楽屋・リハーサル室楽屋では特に気を付けること。なお、体育館楽屋には鏡が無いため、必要に応じ各自で用意すること。
- ・同じグループでも男女間の楽屋の行き来は禁止とする。
- ・楽屋内で音楽を流すこと、踊ることは厳禁とする（ヘッドホン・イヤホンの使用は可）。

③ 大きな荷物の管理場所

・キャリーバッグは、各自の責任・管理で一時的置き場に置くことができる。（会場内の有料コインロッカーは使用可）但し、舞台小道具などは置くことはできない。グループの責任で、ホール外で管理する（会場内及び客席に放置することは厳禁）。

④ ウォームアップエリア（中央体育館2階競技場）

- ・大会1日目、創作コンクール部門出演校を対象とした割り当て練習を中央体育館ウォームアップエリアにて実施する。割り当て練習に入らないことへのペナルティはないが、時間の振替や他グループへの譲渡は不可とする。
- ・楽屋入り直前、同場所でのウォームアップで本番での怪我防止に努めること。
- ・衣装を着用しての練習・ウォームアップは可とする。土足厳禁（各自靴袋を用意すること）。
- ・紐やテープを床に貼る、床を汚す、傷付ける等の行為は厳禁とする。
- ・近隣公園および各宿泊所周辺での練習は禁止する。

⑤ 待機場所（神戸市立中央体育館観客席）

・待機場所での練習や更衣、撮影、音楽を流す等の行為、および荷物置き場としての利用は厳禁とする。

⑥ ゴミの持ち帰り

・各会場・公園等でもゴミ（弁当の空き箱など）はすべて持ち帰る。

⑦ 客席内での食事は禁止する。

5. 肖像権、写真・映像の使用について

大会期間中、大会役員・NHK・フォトスタジオ八木スタッフが作品や大会期間中の様子を写真や動画で記録し、今後の大会運営の参考にするほか、PRなど、大会運営上必要と判断される場合に使用することがある。

大会運営上必要な写真や動画の使用について、同意できない事情がある場合は、大会開催までに実行委員会事務局まで申し出ることとする。特に申し出の無い場合には、同意したものとする。

※テレビ局、新聞社など大会を取材するメディアが使用の希望を申し出た際は、個人が識別される写真・動画の使用について当該者に別途連絡することとする。

VI その他の申し込み

1. 広告協賛による大会支援のお願い

本大会の維持と今後の更なる発展のために、貴校・貴学をはじめご卒業生やご関係の方々より、大会プログラムでの広告協賛によるご支援を募っています。是非ご協力をお願いいたします。

- 発行部数：4,000部（予定）
- 申込方法：大会ホームページ申込画面より
- 申込期間：申込期間：4月1日（月）0：00～6月18日（火）まで
- 支払方法：銀行振込で支払う。
- 支払期日：7月9日（火）まで

	文字広告	写真広告	ホームページ広告
協賛金額	1マス 5,000円～ (7.9cm×2.1cm)	B5サイズ：(カラー) 15万円～ (モノクロ) 10万円～ B6サイズ：(カラー) 7万円～ (モノクロ) 5万円～	バナー（リンク付） 10万円～

2. 『女子体育』の販売と作品映像について

○『女子体育』の販売について

(公社)日本女子体育連盟発行の『女子体育』（第36回AJDF報告特集号）には、全作品の講評および写真を掲載します。

【価格】

- 『女子体育』第36回AJDF報告特集号
1冊 税込1,320円＋送料 *次ページ価格表参照
- 『女子体育』第28～31回AJDF報告特集号
1冊 税込1,250円＋送料 *次ページ価格表参照
- 『女子体育』第32回AJDF報告特集号、2020年度オンライン大会報告特集号
1冊 税込1,300円＋送料 *次ページ価格表参照
- 『女子体育』第33～35回AJDF報告特集号
1冊 税込1,320円＋送料 *次ページ価格表参照

【申し込み方法】

AJDFの大会ホームページより 8月6日（火）午前10時 OPEN 予定

※『女子体育』バックナンバーも同様にお申し込みいただけます。

- 《流れ》
- ステップ1 申し込みフォームをダウンロードする。
 - ステップ2 フォームに必要事項を記入。お名前をファイル名として保存。
 - ステップ3 フォームをメールに添付。件名を **36 AJDF『女子体育』申し込み**とし、宛先 japew@h8.dion.ne.jp に送信。

ステップ4 下記の口座に代金を振込。前払いです！

(振込手数料のご負担をお願いいたします。)

ステップ5 入金確認のメールをお送りします。ここで申し込み完了。

ステップ6 あとは『女子体育』の到着を待つだけ！11月初旬を予定しています。

《代金振込先》

★郵便振替口座 00190-4-33634

(公社) 日本女子体育連盟

振込用紙通信欄に「女子体育 AJDF 特集号
第〇回 (〇年度) 〇冊と書いて下さい。

★ゆうちょ銀行

〇一九店 当座 0033634

(公社) 日本女子体育連盟

『女子体育』第36回AJDF報告特集号 価格表(税込)

1～3冊：	1,320円／冊＋送料110円
4～5冊：	1,250円／冊＋送料150円
6～9冊：	1,250円／冊＋送料500円
10～29冊：	1,180円／冊＋送料500円
30～49冊：	1,110円／冊＋送料600円
50冊以上：	1,110円／冊＋送料900円

《代金振込締切》 9月25日(水) 取り扱い分まで

《個人情報の取り扱い》

以下の個人情報の取り扱いについてご同意の上、お申込み下さい。

全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)実行委員会事務局、及び(公社)日本女子体育連盟が個人情報を収集する目的は、『女子体育』大会報告特集号の申し込み受付とその後の連絡、商品の発送、売上結果一覧の作成・頒布に限っており、その範囲内において委託業者へ収集した個人情報を提供することがあります。

《お問い合わせ》 (公社)日本女子体育連盟 事務局

TEL：03-3469-7995

FAX：03-3469-8427

E-mail: japew@h8.dion.ne.jp

○作品映像について

上演作品の映像については、参加申込者へ後日お知らせ致します。

3. 写真撮影申し込みのご案内

舞台写真と楽屋写真の撮影分を一部門2,000円でWebに展示する予定です。

希望の学校(グループ)は、下記サイトから、「舞台写真撮影申し込み用紙」を入手し、

4月1日(月)～7月31日(水)の申込期間中にFAXにてお申し込みください。

(大会ホームページ上のバナーからもフォトスタジオ八木のホームページに移動できます)

フォトスタジオ八木

<http://www.photostudio-yagi.jp/>

TEL：078-351-4676

FAX：078-351-4744

4. 各種鑑賞チケットについて

創作コンクール部門（予選・決選）、参加発表部門、特別プログラムの各鑑賞チケットを販売する予定です。

創作コンクール部門（予選・決選）、参加発表部門については、**学割席**（2階席予定）を用意します。一般申込を含む情報の詳細は、大会ホームページに後日掲載します。

【鑑賞チケット販売予定】

●創作コンクール部門

8月6日（火） 大ホール : 高校予選1日目（前半）

8月7日（水） 大ホール : 高校予選2日目（後半）

中ホール : 大学予選

8月8日（木） 大ホール : 高校・大学決選 ※高校の部は、前・後半の入れ替えあり

●参加発表部門

8月9日（金） 中ホール

●特別プログラム

8月9日（金） 大ホール : ※2回公演

【販売スケジュール】

①学割チケット ※WEB申込、抽選販売

特別プログラムを除く各公演の2階席を、学割席（学校ごとのエリア指定）として、参加校に対し販売します。申込枚数上限は、入場証もしくは体育館入館証を所持している人数とします。

- ・申込期間・方法：6月1日（土）10:00～6月18日（火）17:00まで。上記「IV 参加要項 3. 参加のための手続き（2）」の参加人数登録等の際に、申込枚数を入力する。申込多数の場合は抽選を行い、6月21日（金）17:00までに結果を電子メールで通知する。
- ・入金期限・方法：6月27日（木）～7月9日（火）15:00まで。グループ登録料等と合算し、銀行振込・コンビニ決済等により入金する。入金後の返金（払い戻し）は一切行わない。
- ・発券方法 : 7月26日（金）を目途に、代表者1名に電子チケットを電子メールで送付する。

②一般鑑賞チケット（1次販売） ※WEB申込、抽選販売

どなたでもお申込みいただけるチケットです。

- ・申込期間・方法：6月1日（土）10:00～6月27日（木）17:00まで。大会ホームページから受付フォームに進み、申込者名・申込枚数等を入力する。申込上限は1公演につき1人5枚までとする。申込多数の場合は抽選を行い、7月2日（火）17:00までに結果を電子メールで通知する。
- ・入金期限・方法：7月3日（水）～7月9日（火）15:00まで。銀行振込・コンビニ決済・クレジットカード決済により入金する。入金後の返金（払い戻し）は一切行わない。前回大会で実施していた「高校決選（前半・後半）の返金（払い戻し）」も行わないので、注意すること。

- ・発券方法 : 7月26日(金)を目途に、申込者に電子チケットを電子メールで送付する。

③一般鑑賞チケット(2次販売) ※WEB申込、先着販売

1次販売後に残席があった場合や、機材席の確定などにより生じた座席を先着順で販売するものです。詳細は、大会ホームページに後日掲載します。下記の情報と大会ホームページの情報とが異なる場合は、大会ホームページの情報が優先します。

- ・申込期間・方法 : 7月下旬から各公演の終了予定時刻まで。ただし、売り切れ次第、販売を終了する。申込方法(WEBでの申込)等の詳細は、大会ホームページに後日掲載する。
- ・入金期限・方法 : 申込と同時にクレジットカードにより決済を行う。チケット代金にクレジットカード決済手数料やシステム利用料等を加えた金額をお支払いいただきます。入金後の返金(払い戻し)は一切行わない。
- ・発券方法 : 未定(購入者各自でのコンビニ発券または電子チケットを予定)
- ・リセール : この「一般鑑賞チケット(2次販売)」で購入した高校決選(前半・後半)のチケットに限り、購入後に鑑賞を取りやめる事情が生じた場合は、他の購入ご希望者へのリセールを行うことができる。リセールが可能な期限(公演前日の23時頃を予定)や条件の詳細は、後日、大会ホームページに掲載予定。

【チケット販売についての注意事項】

※当日チケット販売(大会期間中の現地でのチケット販売)は、今大会では行いません。

※「高校決選(前半・後半)の返金(払い戻し)」は、今大会では行いません。

※先着販売の残り席数についてはお答えできませんので、実行委員会へのお問い合わせはご遠慮ください。

※上記③の「一般鑑賞チケット(2次販売)」で購入した高校決選(前半・後半)のチケットに限り、購入後に鑑賞を取りやめる事情が生じた場合は、他の購入ご希望者へのリセールを行うことができます。リセールが可能な期限や条件の詳細は、後日、大会ホームページに掲載予定です。

Ⅶ 諸連絡

1. 著作権に関する説明動画

音楽著作権の手続きがスムーズに行えるように、大会ホームページに動画を3月にアップします。是非参考にしてください。

2. 事前説明会（令和6年5月11日（土）オンライン）※任意参加

大会に先立ち、A・B用紙の記入方法等の説明会をオンラインで開催します。5月11日（土）を予定しています。時間等は後日連絡いたします。これは任意参加であり、出席しなくても大丈夫です。

3. 県代表の決定

県代表が決定したら、速やかに神戸事務局までご報告ください。自校としてもエントリーしている場合、県代表の予選番号が県代表校の番号になります。

4. 顧問会議について（令和6年8月1日（木）オンライン）※必須参加

顧問会議は必ずどなたかが参加してください。大会主催者側が参加校に説明する責任があります。ご協力のほど、どうかよろしく願いいたします。

【資料】

第36回 全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)

36th All Japan Dance Festival-Kobe



創作コンクール部門・参加発表部門

B用紙 記入上の注意事項

B用紙記入例

B 用紙記入上の注意事項

- ※ B用紙の提出方法は、「参加申し込み要項」p.12 (4) ④ A・B用紙 (15部) を参照すること。
- ※ ダウンロードした B用紙に手書きまたは入力が必要事項を記入する。
- ※ 「B用紙記入例 (参考)」及び「舞台参考資料」を参照し、内容は必ず1枚にまとめること。表面に別の紙面を継ぎ足して利用する等は不可とする。
- ※ 「作品の進行」「照明家の資料」になるので、内容は全て表面に明記すること。
- ※ 判読できない小さな字、薄い字、鉛筆書きを避けること。
- ※ 不備がある場合は取り扱わないので注意すること。すべて正確に記入、漏れなく明記すること。
- ※ B用紙は **B4 サイズに拡大コピー (白黒可) し、そのうち原本となる (衣装に着色をしたもの) 1部を一番上にして、計 15部をまとめて、2つ折 (記入面を表側) にして A用紙等と共に郵送する。**

1. 記入項目イ. ～ への記入方法

作品の進行に合わせて、時間経過・音・主な動きの構成・照明の関係をわかりやすく記入する。

イ. 作品の進行時間

作品全体の進行時間を記入すること。

出演者の出入りの時間は含めない。

上演の際のタイムオーバーは違反となるので、この欄に記入する「作品自体の進行に必要な時間」と「出演者の出入りに必要な時間」を合わせて各部門の作品に関わる制限時間 (要項 p.8) を守っているかをよく確認した上で記入すること。

ロ. CD の進行時間

CD を流し始めてからの時間を記入すること。

ハ. 音量の起伏

CD に録音された伴奏音楽が聞こえてくる起伏を記入すること。

大会当日に音響家による音量操作はいつさい行わない。

ニ. 音・照明・動きの関係

▶特に作品の始まり方と終わり方の様子を具体的かつ明確に記入する。

始まり方の記入例

- ①「板付き→音・照明 C.I→動き始める」
- ②「板付き→動き＝照明 (無音 10 秒) →音 C.I」
- ③「板付き→雑踏の効果音 C.I から 5 秒かけて照明 F.I→人が動いているのが見える」

終わり方の記入例

- ④「△分△△秒から△秒かけて照明 F.O→暗転後はける」
- ⑤「音が切れて (△分△△秒)、◎の人が振り向いたら照明 F.O」
- ⑥「◎印の人が下手奥から走りセンターで倒れる (△分△△秒) → (7 秒後) 音・照明 F.O」
- ⑦「音が切れて (△分△△秒) → (5 秒後) 照明 C.O→暗転後、ダンサーがはける」

など

ホ. 照明希望案

- 照明の複雑な転換や場所の指定は不可能なので、アイデアを生かしつつも、極力シンプルな案にすること。各シーンには、イメージを記入しておくことが望ましい。なお、実際の判断は照明家が行うので予め了承のこと。
- ※照明転換の時間は、CDの進行時間を記入する。
- 具体的な照明案の希望がない場合は、テクニカルスタッフに一任する形となる。

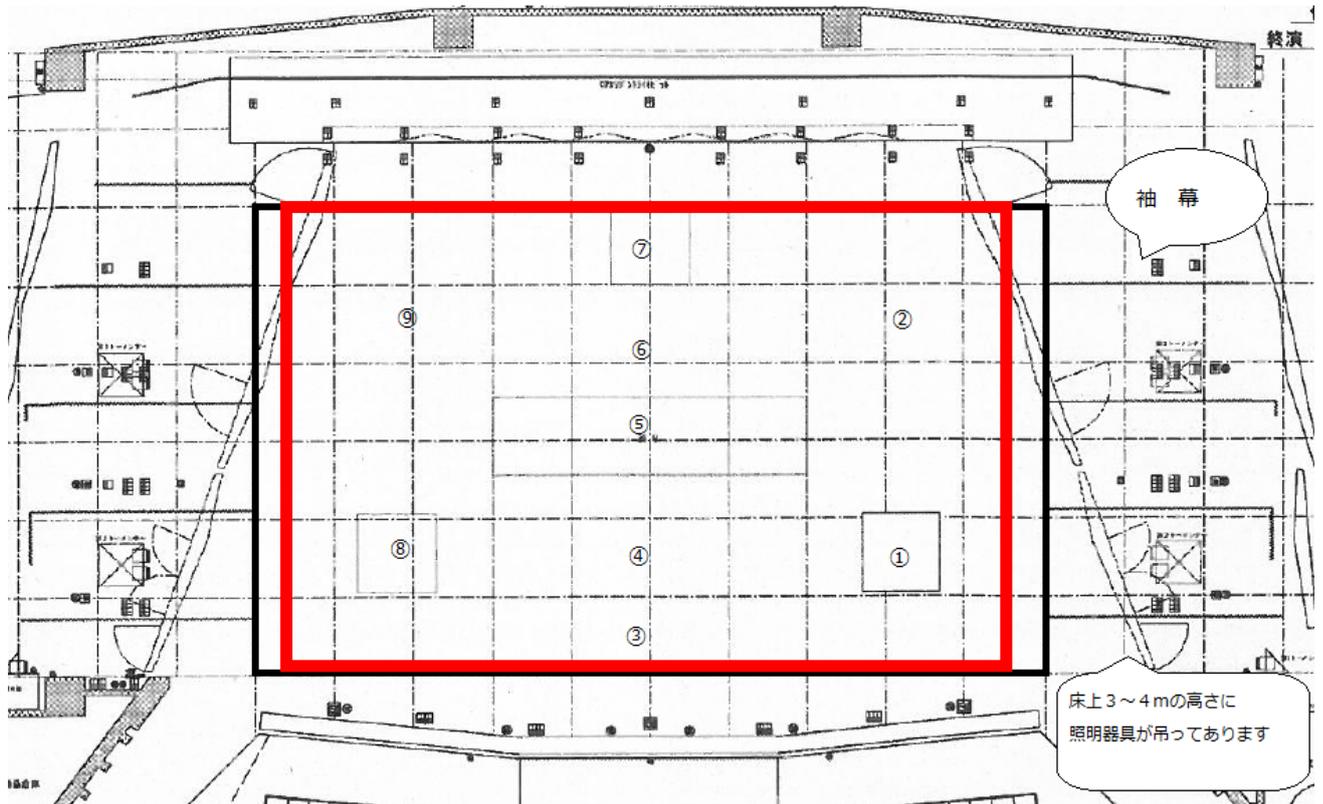
へ. 構成図

- 各シーンにダンサーがどのように位置しているのかを記入すること。

2. 記入項目①～⑫の記入方法

- ①該当箇所を○で囲み、B用紙提出時の最新の上演順を大会ホームページで参照して記入すること。
- ②学校名グループ名をもれなく記入すること。
- ③プログラム原稿・A用紙とまったく同じ題名を記入すること。
- ④上演前後の舞台への出入りを含めないで作品にかかる正味の所要時間を記入すること。
ただし、動きが終わっても照明が残っている場合のように、照明の転換に時間を要する場合（照明のF.O開始～暗転までの時間など）は含めること。
- ⑤プログラム原稿（A用紙）の人数と相違がない出演者数を記入すること。
- ⑥きっかけ出しを行う人（要項 p. 14 で「きっかけ出し係」の条件を規定）の名前を記入し、該当種別を○で囲むこと。きっかけ出し係の変更は作品の安全管理上、極力しないこと。
- ⑦作品開始時の配置場所ごとの出演者の人数を記入する。
- ⑧舞台の背景を黒幕か Horizont 幕から選択して○で囲むこと。
- ⑨照明の参考となる作品イメージの解説、希望する全体的な照明イメージについて記入すること。
- ⑩衣装・靴・帽子などについて明示すること（要着色。素材や色の名称も記入。）。
- ⑪使用する小道具について、その大きさ、数量、材質、使用方法を明記すること。 道具1つあたりの大きさに規定があるため、参加要項を確認すること。また、帽子や靴などの衣装も作品途中で、身体から離れる場合は小道具の扱いとなるので、参加要項の規定（p. 15-16）を確認すること。
雑巾等を袖幕に持ち込む場合は、「⑩小道具」欄に記入すること。
- ⑫大会期間前にも必ず連絡がつく指導者または引率責任者の氏名および電話番号を記入する。また、大会期間中の緊急連絡にも対応できる携帯電話の番号とメールアドレスを必ず明記すること。

舞台参考資料（大ホール舞台平面図）



I 上図は「大ホール」の平面図である。

上演スペースは上図の赤色太線で囲まれた範囲 間口9間(約16.4m)奥行6間(約11m)となる。

図中の細い線の枠は、1マスが1間×1間(1.8m×1.8m)である。

※詳細は要項を参照のこと。

II 袖幕（舞台の左右にある黒い幕）は幅が広い（約6mある）のでダンサーの出入りには時間がかかることを考慮すること。

III 円形サスペンションスポット（エリアを限定する上からの強いスポットライト）は、上図の①～⑨の位置に用意してあるので、必要に応じてB用紙に番号で記入すること。

なお、このスポットの直径は、4m弱（10人から15人集まることが可能）である。

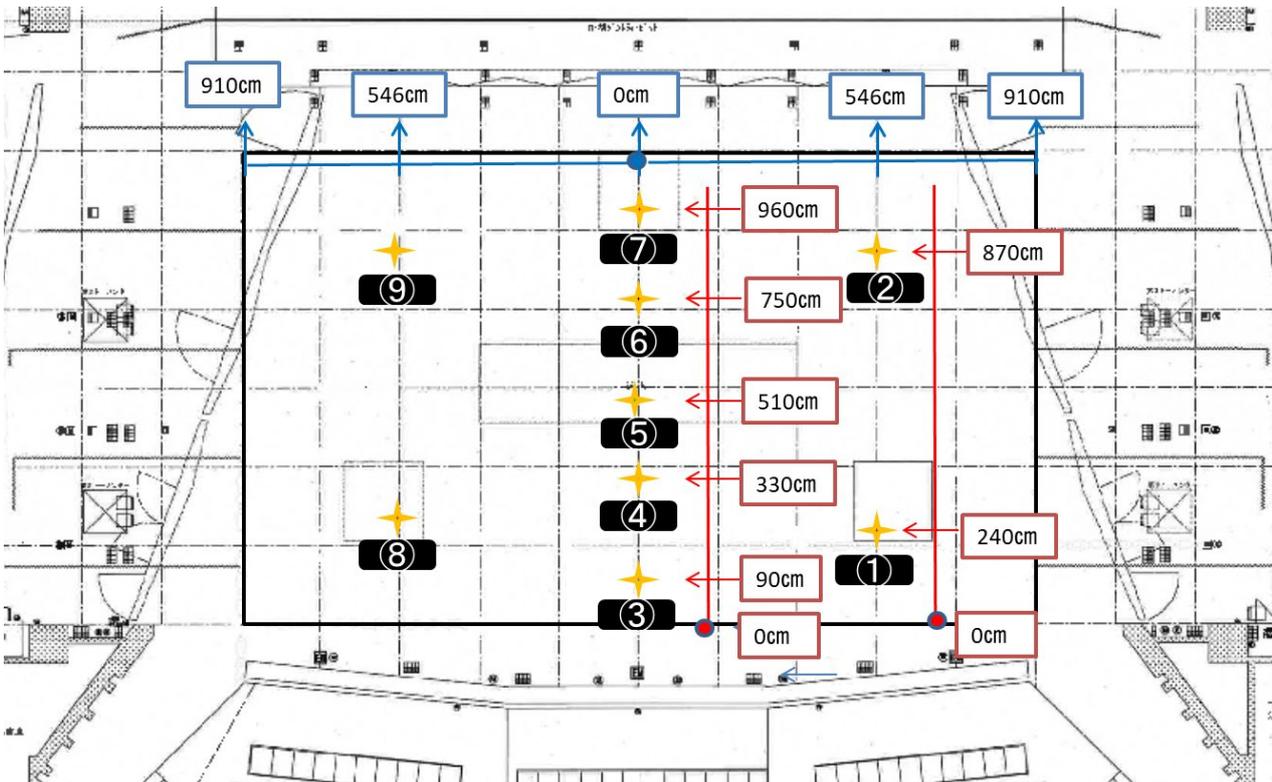
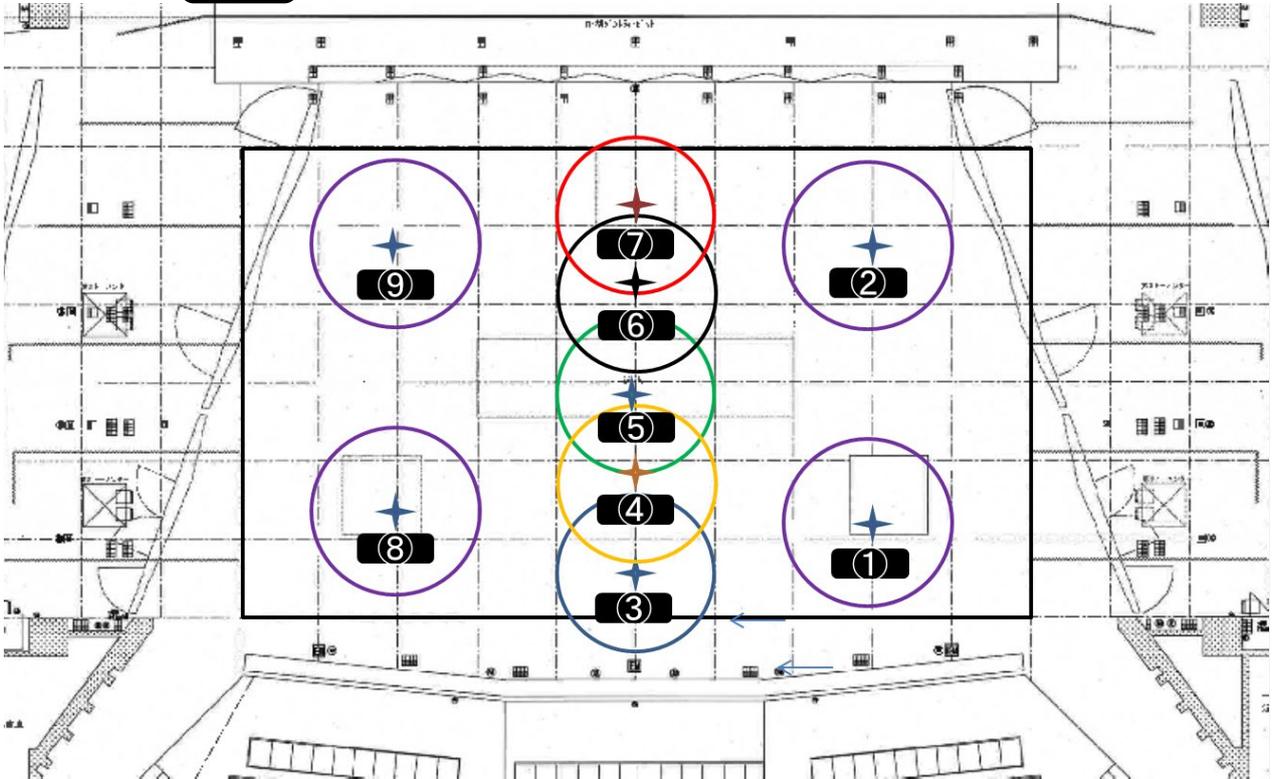
IV 円形サスペンションスポットについて、①～⑨の位置以外の場所、方向、または大きさの小さいものを希望する場合は、①～⑨の位置を基準にして図示すること。但しこの場合、必ずしもその通りにいかない場合がある。

V B用紙の「ホ.照明希望案」を記入する際には、単に赤や青と指定する以外に、「このようなイメージ」など、イメージを主体に記入すると照明デザインのために有効な助けとなる。

舞台照明サスペンションスポット参考資料（大ホール舞台平面図）

次の図は、サスペンションスポットの位置を示したものである。各校で実寸大の場所にて練習することを勧める。

① : サス番号 ✦ : サスの中心



日用紙 記入例(参考)

提出期限 ●月●●日(▲)消印有効

＜提出後は照明案の変更ができません。また、小道具は個数を増やしたり、追加したり、提出書類と違う素材に変更することはできません＞

イ.作品の進行時間	ロ.CDの進行時間	ハ.音量の起伏	ニ.音・照明・動きの関係	ホ.照明希望案	ヘ.構成図
0'00"	0	5	暗転板付き(道具も)		(下手) (上手)
0'03"			→ ①動きニ照明F.I 無音でダンサーが動いている。	きっかけ出し後、3秒かけて舞台中央の箱と動いている人がうっすらと見えるような照明をF.I。(無音で動いています。)	
0'10"	0'00"	C.I	→ ②音(M1)C.I 伴奏1 日常的な食事の風景	0'00"に音が入ると同時に照明を強く。色は白	(下手) (上手) (客席)
1'17"	1'07"		舞台中央の箱が広がり、ダンサーが踊る。 厳しい現代社会のイメージ	1'07"から5秒かけて舞台両側から強いSSをF.I。ダンサーと箱がはっきり見えるように。色は強烈な白	(下手) (上手) (客席)
2'10"	2'00"	F.O	無音	2'00"から5秒かけて下手前の箱と人を目立たせるような照明をF.I。色は強烈な白	(下手) (上手) (客席)
2'13"	2'03"		舞台下手前でダンサーが踊る。		(下手) (上手) (客席)
2'15"	2'05"	C.I	効果音 工場のような無機質なイメージ		(下手) (上手) (客席)
2'40"	2'30"	C.O	無音		(下手) (上手) (客席)
3'01"	2'51"		舞台下手に箱と人が集まる。 必死で食べ物を食べる様子のイメージ	2'51"から3秒かけて照明を下手全体に広げる。	(下手) (上手) (客席)
3'26"	3'16"		舞台下手でダンサーが踊る。 生存競争の中で這い上がるイメージ	3'16"から5秒かけて照明を舞台上手前以外に広げる。	(下手) (上手) (客席)
4'04"	3'54"		舞台全体にダンサーが広がる。	3'54"から10秒かけて照明を舞台全体に広げ、ロアホリゾントの白をF.I。舞台が白くまばらに照らされるような照明。	(下手) (上手) (客席)
4'23"	4'13"		舞台全体でダンサーが踊る。 葛藤しつつも強い意志が芽生えてくるイメージ	4'13"から8秒かけてホリゾントの照明を無し、舞台両側から強いSSをF.I。ダンサーの体がはっきりと浮かび上がるように舞台天井からも照らす。色は強烈な白	(下手) (上手) (客席)
5'18"	5'08"		舞台全体にダンサーが広がる。 日常生活に戻るイメージ	5'08"から8秒かけて舞台中央を目立たせうえて、全体に点状のダンサーがぼんやり見えるような照明をF.I。	(下手) (上手) (客席)
5'38"	5'28"	F.O	→ ①音(M2)F.O		(下手) (上手) (客席)
5'39"	5'29"		→ ②照明F.O	5'29"照明F.O	(下手) (上手) (客席)
5'42"	5'29"		→ ③暗転後はける。		(下手) (上手) (客席)

①	高校 大学	創作コンクール	参加発表	上演順 99番
②	学校名グループ名		全日本大学	コンテンポラリーダンス部
③	題名		食卓より	
④	上演前後の出入りを含めない作品時間			
⑤	5	分	42	秒
⑥	人数		人数	
⑦	女 22人	男 4人	計 26人	
⑧	きっかけ出しを行う人の氏名		* 指導者 * 学 * 出演者	
⑨	神戸 踊子		* 指導者 * 学 * 出演者	
⑩	作品の最初の出演者の配置			
⑪	* 小道具を舞台上に設置して、上手にスタンバイする場合は上手の人数に含めてください。	板付き	2	人
⑫		上手	9	人
⑬		下手	15	人
⑭	舞台背景			
⑮	黒幕 ホリゾント			
⑯	作品のイメージ			
⑰	食卓という日常的な空間から現代社会の不条理さが浮かび上がってくるイメージ。全体的に無機質な照明でお願いします。			
⑱	衣装・シューズ * 身体から離して扱うものは⑰にも記載			
⑲	ワンピース 裸足			
⑳				
㉑	右手にスカーフ(ずっと付けたままです。途中で外して道具にすることはありません。)			
㉒	小道具 (大きさ・数量・材質・使用場面・方法など詳しく記入)			
㉓	* 種類別に番号をつけること。			
㉔	① 箱(アクリル製) 黒色 用途: 乗る、持ち上げる 個数: 7個 (45cm x 40cm x 40cm)			
㉕				
㉖	② 雑巾(下に敷くビニール含む) 6枚 23cm x 45cm 用途: 滑り止めとして舞台軸に置く			

作品の終了タイムを必ず記載!

高校の場合は指導者の名前と連絡先を記入 (生徒の名前は避ける)

※聞こえてくる伴奏音楽の起伏を記入例を参照して記入してください

緊急連絡先(大会期間中に連絡がつく指導者または引率責任者の番号を必ず記入)

⑫ 連絡責任者氏名 TEL: (000)111-2222 携帯: (090)3456-7890

佐藤 花子 e-mail: abc 5678@○○▲◎★☆ne.jp

記入を忘れずに

よくある間違いの事例

—場合によっては参加不可になることもあります。必ずチェックしてください—

	よくある事例	対処法
申込	参加申込締切に間に合わない	締切直前ではなく、余裕をもって！
	入金なし・振込金額の間違い	
	登録人数の間違い	
	Web 登録に間に合わない	事前にパソコンやネット環境のチェックを！
	消印なし・後払い郵送	消印が確認できる方法で！
	簡易書留郵送	人がいなくても受け取れる方法で！
A 用紙	A-1・A-2 データなしで、プログラム原稿をアップロード	必ず添付送信してください！
	A-1・A-2 を両面印刷してしまう	別々にそれぞれ、片面印刷をしてください！
	団体名なし・グループ名なし	必ず確かめてください！
	送付数の間違い	
	PDF で送付	データ処理が出来なくなります。書式は変えずに提出してください。
	データシートの変更	
B 用紙	上下（舞台の方向）を逆さまに記入	必ず確かめてください！
	上手と下手の人数の間違い	
	無音を CD 進行時間に入れて記載	作品の始まりが無音の場合、CD 進行時間に無音部分はいれなくてください。
	小道具の記載忘れ（数・大きさ）	ぞうきん・下に敷くビニールも含めて、必要事項を記入してください。
	小道具のサイズが実際の方が大きい	正しいサイズを記入してください。
	衣装の記載なし	全ての衣装を記入してください。
A 用紙と B 用紙の内容が違う（学校名・グループ名・人数）		必ず確かめてください！
A 用紙と Web 送信の内容が違う（学校名・50 字・人数）		
音源	MP3 で提出	オーディオ CD 形式に。
	1トラックになっていない	必ず確かめてください！
	ケースに記載なし	
顧問会議	欠席	必ず、代理を立ててください。
上演打ち合わせ	遅刻・欠席	特に決選前は忘れないように。
権利処理	・著作権を確認していない	著作権等を確認しているか不明であると、上演が出来なくなります。分からない時は早めに東京分室に相談してください。
	・著作権を確認しているが記入もれ	
	・権利者に直接許諾をとっているが、書類を提出していない。	
	・各記入漏れ…利用方法、作品コード、隣接権、レコード会社、商品番号、作曲家、作詞家等	

全体のスケジュール

日程	内容
3月初旬	第36回大会公式ホームページ（大会開催要項）開始
3月中	大会説明・著作権説明動画大会ホームページアップ
4/1（月）～4/17（水）	参加申込み期間
5月11日（土）	事前説明会（オンライン・任意参加）
6/1（土）～6/18（火）	A・B用紙提出期間
4/1（月）～7/31（水）	フォトスタジオ八木申込期間
6/27（木）～7/9（火）	参加料振込期間
7/9（火）	広告費振込最終日
8月1日（木）	顧問会議（全校必ず出席）
8月6日（火）～9日（金）	36 th AJDFKobe
大会期間中	『女子体育』予約開始
8月9日（金）	大会アンケート送信
8月下旬	NHK Eテレ放映
11月下旬	『女子体育』発刊